
守山市
ケアマネジャーアンケート調査
結果報告書

令和 8 年 3 月

目次

I	調査概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	実施概要	1
(3)	配布件数、有効回答件数及び回答率 ※ () 内は前回調査時	1
(4)	留意点	1
II	調査結果	2
1.	ケアマネジャーとしてのあなたご自身について	2
2.	ケアプランについて	8
(1)	ケアプラン作成について	8
(2)	要介護度別の内訳について	10
(3)	利用者やその家族からの意見や相談について	19
3.	介護保険サービスについて	20
(1)	業務上の課題について	20
(2)	サービスの過不足について	22
4.	他機関・団体等との連携について	24
(1)	利用者や家族への訪問頻度について	24
(2)	サービス提供事業所との関係における課題について	25
(3)	主治医との連絡について	26
(4)	歯科医師との連絡について	29
(5)	入院先の医師との連絡について	32
(6)	地域包括支援センターについて	34
(7)	その他関係機関について	37
5.	高齢者施策全般について	38
(1)	福祉サービスについて	38
(2)	人生会議やエンディングノートについて	44
6.	ケアマネジャーの業務負担感について	45
(1)	業務の負担感について	45
7.	介護予防支援について	46
(1)	介護予防支援について	46

I 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、「第9期守山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けて、ケアマネジャーやサービス提供事業所を対象に、サービスの利用状況や関係機関等との連携状況に関する課題や問題点、高齢者施策への意見・要望等を把握する目的で実施しました。

(2) 実施概要

調査対象	市内の居宅介護支援事業所に所属しているケアマネジャー
実施方法	電子メールによる配布、WEB アンケートによる回答
実施期間	令和7年12月12日（金）～令和8年1月30日（金）

(3) 配布件数、有効回答件数及び回答率 ※（ ）内は前回調査時

調査対象者	有効回収件数	有効回収率
68件（81件）	41件（52件）	60.3%（64.2%）

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer＝いくつでも）、3LA（3 Limited Answer＝3つまで）と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。
5. 報告にあたっては、設問内容に応じてケアマネジャーの経験年数や事業所種別などとのクロス集計を行い、市全体だけでなく、それぞれの属性における特徴や傾向について分析を行った。

Ⅱ 調査結果

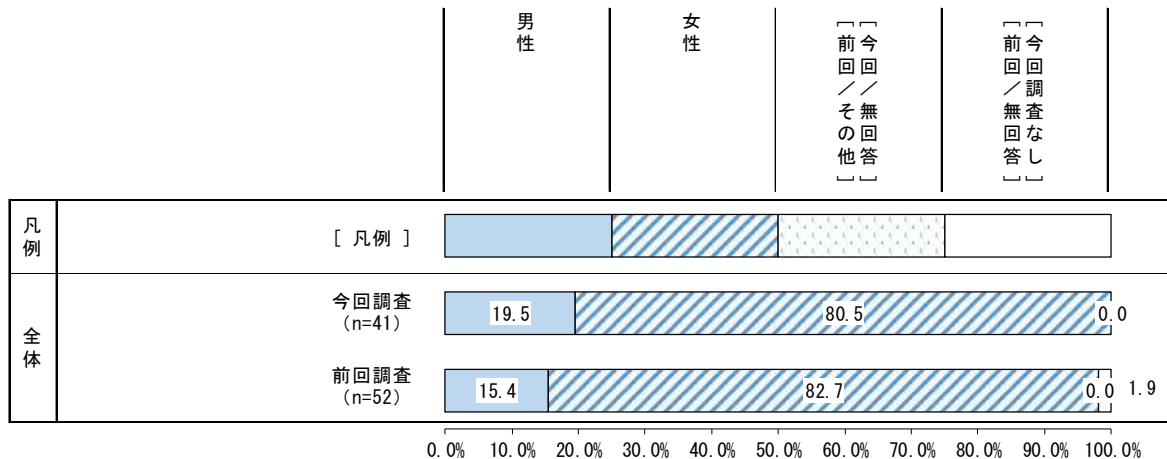
1. ケアマネジャーとしてのあなたご自身について

●問1 あなたの性別をご記入ください。(○は1つ)

【全体】

- 性別について、「男性」が19.5%、「女性」が80.5%となっています。
- 前回調査に比べ、「男性」の割合がやや高くなっています。

【性別】

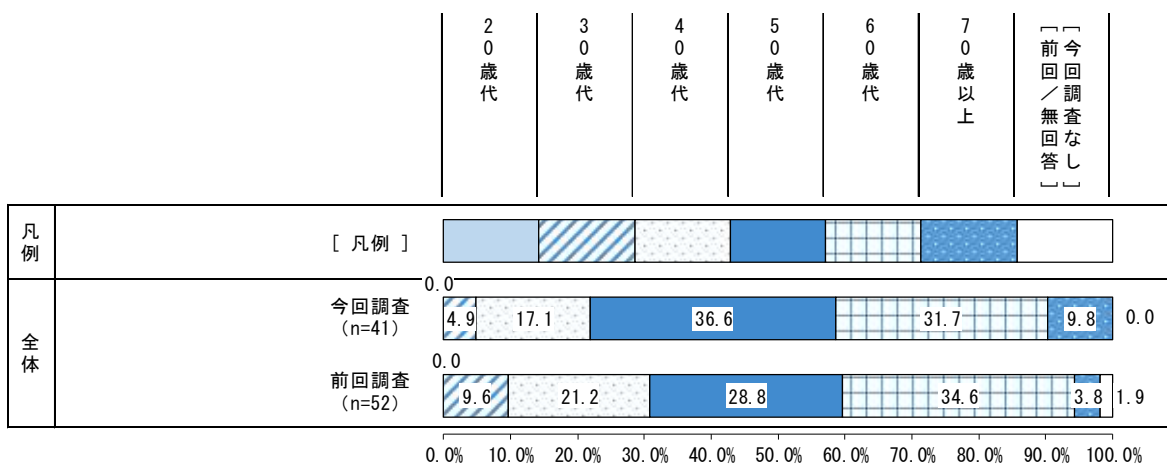


●問2 あなたの年齢をご記入ください。(○は1つ)

【全体】

- 年齢について、「50 歳代」が36.6%で最も高く、次いで「60 歳代」が31.7%、「40 歳代」が17.1%となっています。
- 前回調査に比べると、50 歳代以上が高くなっています。

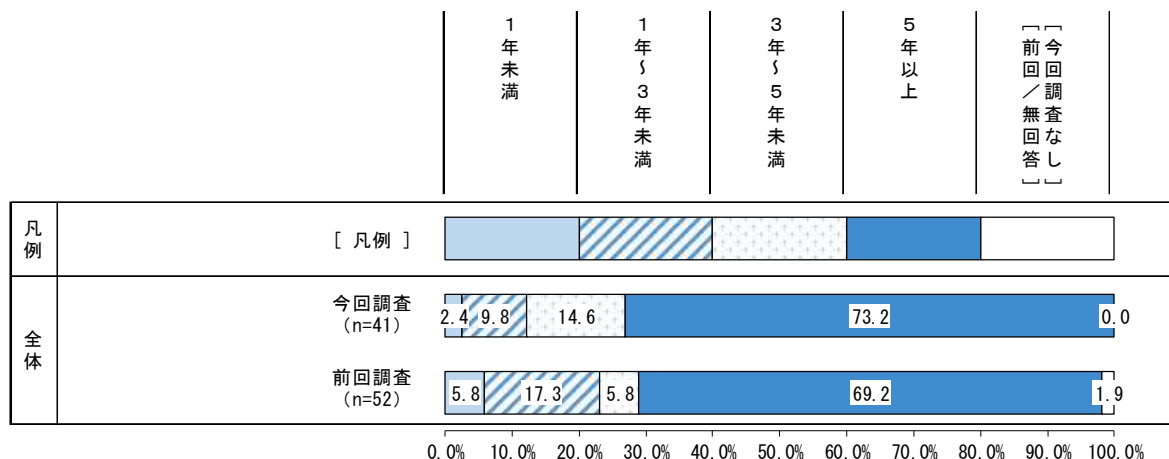
【年齢】



●問3 ケアマネジャーとしての経験年数を選択してください。(○は1つ)

- 【全体】
- 経験年数について、「5年以上」が73.2%で最も高く、次いで「3～5年未満」が14.6%、「1年～3年未満」が9.8%となっています。
 - 前回調査に比べると、3年未満が低くなり、3年～5年未満が高くなっています。
- 【年齢】
- 年齢が高いほど経験年数が長い傾向がみられます。
- 【法人種別】
- すべての法人種別で「5年以上」の割合が高くなっています。また、社会福祉法人でのみ「1年未満」の回答がみられます。

【経験年数】



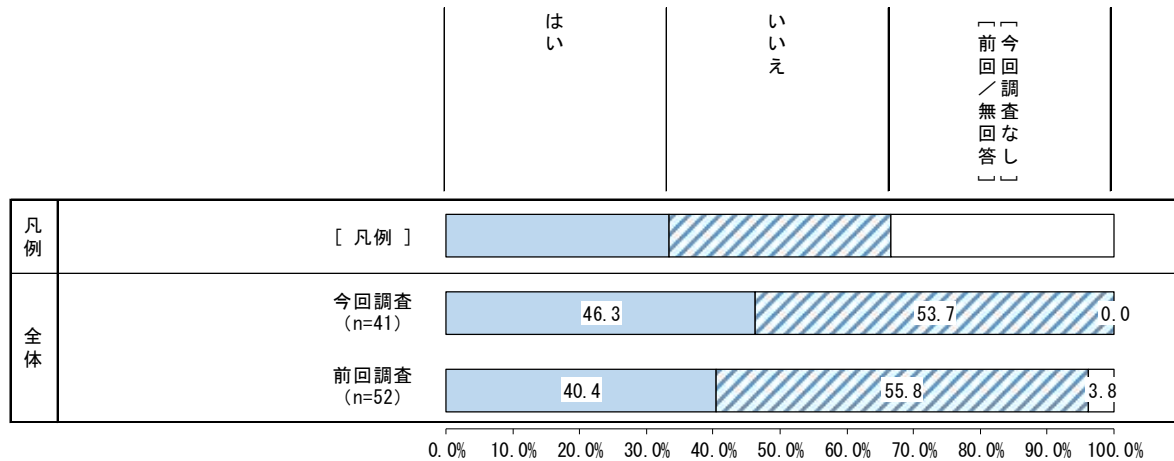
単位：%

		母数	ケアマネジャーとしての経験年数				
			1年未満	1年～3年未満	3～5年未満	5年以上	「前回調査なし」 「前回／無回答」
年齢	20歳代（n=0）	-	-	-	-	-	-
	30歳代（n=2）	2	-	△ 50.0	△ 50.0	-	-
	40歳代（n=7）	7	-	14.3	△ 42.9	▼ 42.9	-
	50歳代（n=15）	15	6.7	13.3	13.3	66.7	-
	60歳代（n=13）	13	-	-	-	△ 100.0	-
	70歳以上（n=4）	4	-	-	-	△ 100.0	-
法人種別	社会福祉法人（n=14）	14	7.1	14.3	△ 35.7	▼ 42.9	-
	医療法人（n=1）	1	-	-	-	△ 100.0	-
	民間事業者（n=18）	18	-	-	-	△ 100.0	-
	NPO法人（n=8）	8	-	△ 25.0	12.5	▼ 62.5	-
	その他（n=0）	-	-	-	-	-	-

●問4 主任ケアマネジャーの資格を持っていますか。(○は1つ)

【全体】	
○	主任ケアマネジャーの資格の有無について、「はい」が46.3%、「いいえ」が53.7%となっています。
○	前回調査に比べると、「はい」がやや高くなっています。
【年齢】	
○	「はい」は60歳代が61.5%と他の区分に比べて高くなっています。
【法人種別】	
○	「はい」は社会福祉法人が14.3%と他の区分に比べて低くなっています。

【主任ケアマネジャーの資格の有無】



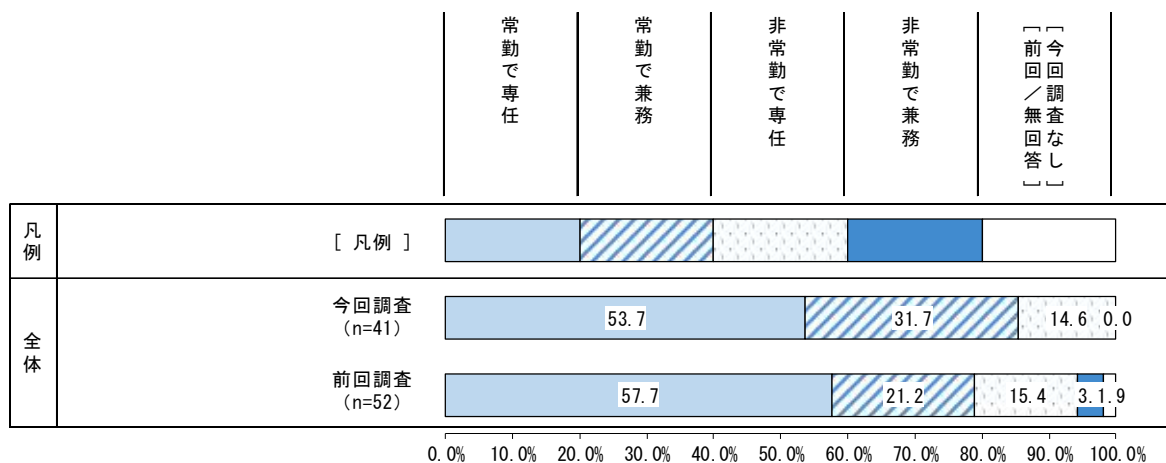
		母数	主任ケアマネジャーの資格の有無		
			はい	いいえ	「前回調査なし」 「無回答」
年齢	20歳代（n=0）	-	-	-	-
	30歳代（n=2）	2	-	△ 100.0	-
	40歳代（n=7）	7	▼ 14.3	△ 85.7	-
	50歳代（n=15）	15	53.3	46.7	-
	60歳代（n=13）	13	△ 61.5	▼ 38.5	-
	70歳以上（n=4）	4	50.0	50.0	-
法人種別	社会福祉法人（n=14）	14	▼ 14.3	△ 85.7	-
	医療法人（n=1）	1	△ 100.0	-	-
	民間事業者（n=18）	18	△ 66.7	▼ 33.3	-
	NPO法人（n=8）	8	50.0	50.0	-
	その他（n=0）	-	-	-	-

●問5 あなたの勤務形態は、次のうちどれに該当しますか。(○は1つ)

【全体】

- 勤務形態について、「常勤で専任」が 53.7%で最も高く、次いで「常勤で兼務」が 31.7%、「非常勤で専任」が 14.6%となっています。
- 前回調査に比べると、「常勤で兼務」が高くなっています。

【勤務形態】



単位：％

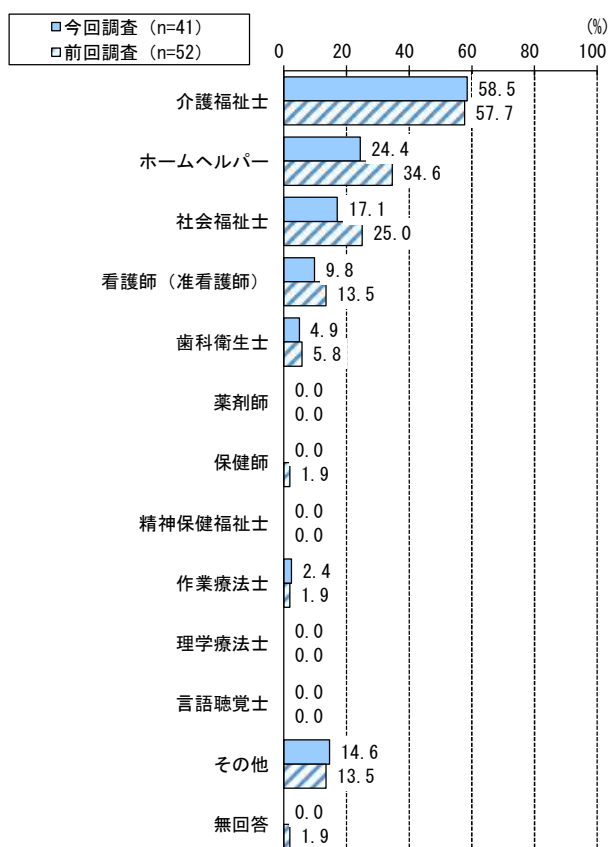
		母数	勤務形態					「前回調査なし」	「今回調査なし」
			常勤で専任	常勤で兼務	非常勤で専任	非常勤で兼務			
年齢	20歳代 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代 (n=2)	2	50.0	△ 50.0	-	-	-	-	-
	40歳代 (n=7)	7	57.1	▼ 14.3	△ 28.6	-	-	-	-
	50歳代 (n=15)	15	△ 73.3	26.7	-	-	-	-	-
	60歳代 (n=13)	13	▼ 38.5	△ 46.2	15.4	-	-	-	-
	70歳以上 (n=4)	4	▼ 25.0	25.0	△ 50.0	-	-	-	-
法人種別	社会福祉法人 (n=14)	14	△ 85.7	▼ 7.1	7.1	-	-	-	-
	医療法人 (n=1)	1	-	△ 100.0	-	-	-	-	-
	民間事業者 (n=18)	18	▼ 38.9	38.9	22.2	-	-	-	-
	NPO法人 (n=8)	8	▼ 37.5	△ 50.0	12.5	-	-	-	-
	その他 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-

- 問6 あなたは、介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。(お持ちの資格全てに○)

【全体】

- 介護支援専門員以外の資格について、「介護福祉士」が58.5%で最も高く、次いで「ホームヘルパー」が24.4%、「社会福祉士」が17.1%となっています。
- 前回調査に比べると、「ホームヘルパー」「社会福祉士」で特に低くなっています。

【介護支援専門員以外の資格】



単位：%

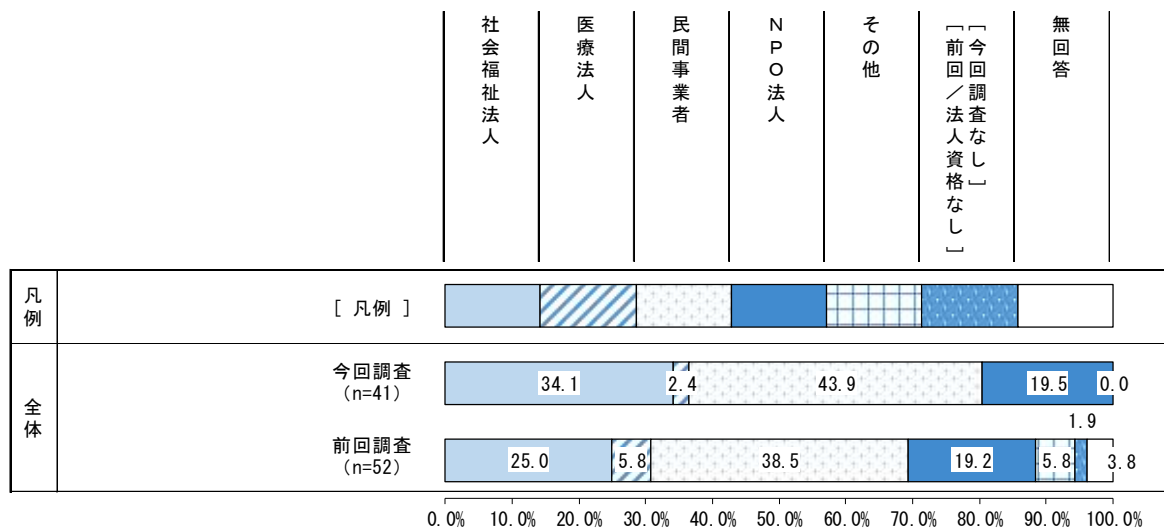
		母数	介護支援専門員以外の資格						
			介護福祉士	ホームヘルパー	社会福祉士	看護師（准看護師）	歯科衛生士	作業療法士	その他
年齢	20歳代（n=0）	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代（n=2）	2	△100.0	△ 50.0	△ 50.0	-	-	-	-
	40歳代（n=7）	7	57.1	-	△ 28.6	-	-	△ 14.3	-
	50歳代（n=15）	15	66.7	20.0	13.3	-	-	-	20.0
	60歳代（n=13）	13	▼ 38.5	23.1	7.7	△ 23.1	△ 15.4	-	23.1
	70歳以上（n=4）	4	△ 75.0	△ 75.0	25.0	△ 25.0	-	-	-
法人種別	社会福祉法人（n=14）	14	△ 85.7	△ 35.7	▼ 7.1	-	-	-	14.3
	医療法人（n=1）	1	-	-	-	-	-	-	△100.0
	民間事業者（n=18）	18	55.6	27.8	11.1	11.1	11.1	-	11.1
	NPO法人（n=8）	8	▼ 25.0	-	△ 50.0	△ 25.0	-	△ 12.5	12.5
	その他（n=0）	-	-	-	-	-	-	-	-

●問7 あなたが勤めている法人の種別は、次のうちどれに該当しますか。(○は1つ)

【全体】

○ 法人種別について、「民間事業者」が 43.9%で最も高く、次いで「社会福祉法人」が 34.1%、「NPO法人」が 19.5%となっています。

【法人種別】



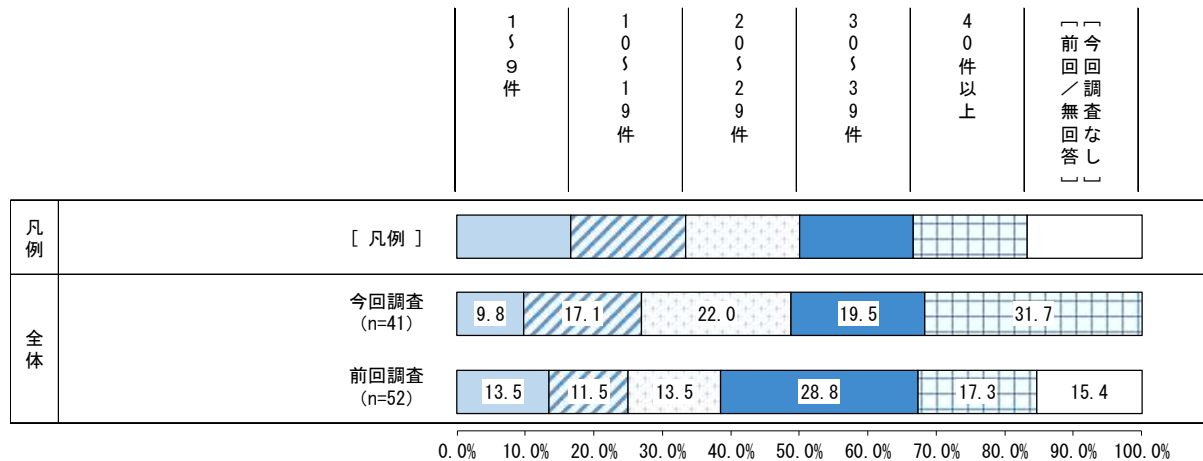
2. ケアプランについて

(1) ケアプラン作成について

- 問8 令和7年1月～12月のあなたの月平均のケアプラン作成数はどれくらいですか。（数字を記入）（全体）

【全体】	
○	ケアプラン作成数について、「40 件以上」が 31.7%で最も高く、次いで「20～29 件」が 22.0%、「30～39 件」が 19.5%となっています。
○	前回と比べて、40 件以上の割合が高くなっています（17.3%→31.7%）

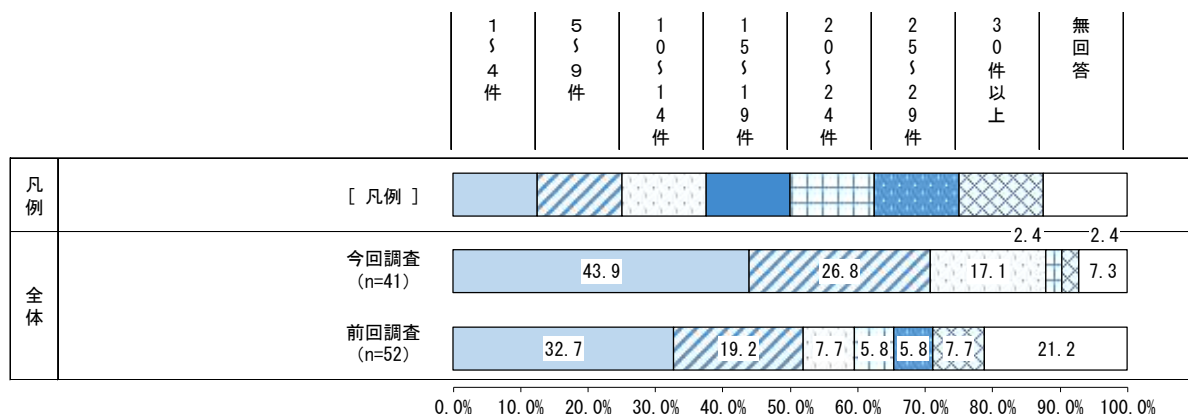
【ケアプラン作成数】



- 問8 令和7年1月～12月のあなたの月平均のケアプラン作成数はどれくらいですか。（数字を記入）（うち新規介護）

【全体】	
○	月平均ケアプラン作成数（新規介護）について、「1～4 件」が 43.9%で最も高く、次いで「5～9 件」が 26.8%、「10～14 件」が 17.1%となっています。
○	前回調査と比べ、「1～4 件」の割合が高くなっています（32.7%→43.9%）

【月平均ケアプラン作成数（新規介護）】

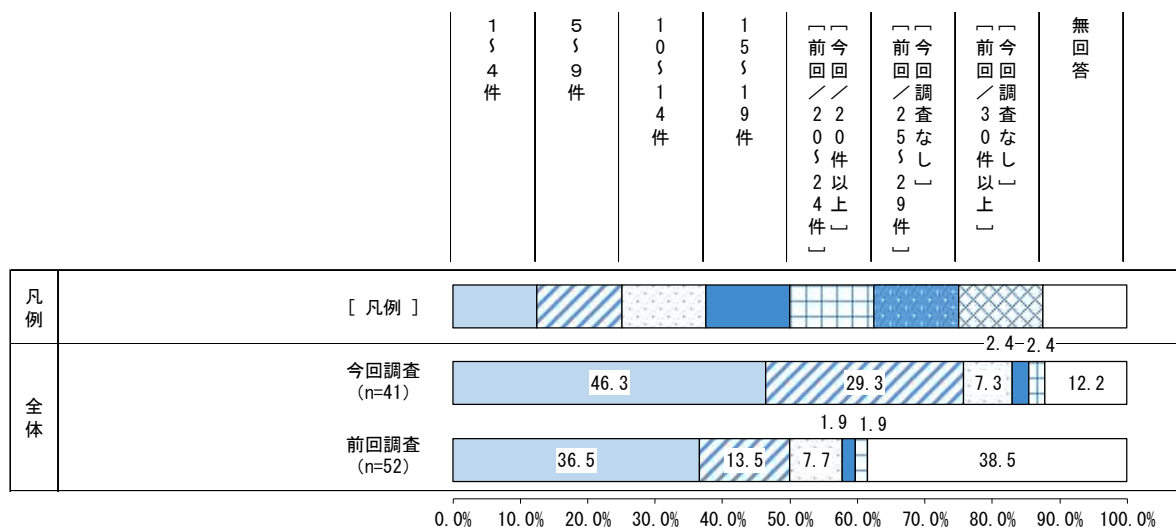


- 問8 令和7年1月～12月のあなたの月平均のケアプラン作成数はどれくらいですか。（数字を記入）（うち新規予防）

【全体】

- 月平均ケアプラン作成数（新規予防）について、「1～4件」が46.3%で最も高く、次いで「5～9件」が29.3%、「10～14件」が7.3%となっています。
- 前回調査と比べ、「5～9件」の割合が高くなっています（13.5%→29.3%）

【月平均ケアプラン作成数（新規予防）】



(2) 要介護度別の内訳について

- 問9 令和8年1月1日時点におけるご担当について、要介護度別の内訳をそれぞれ人数でご記入ください。(数字を記入)

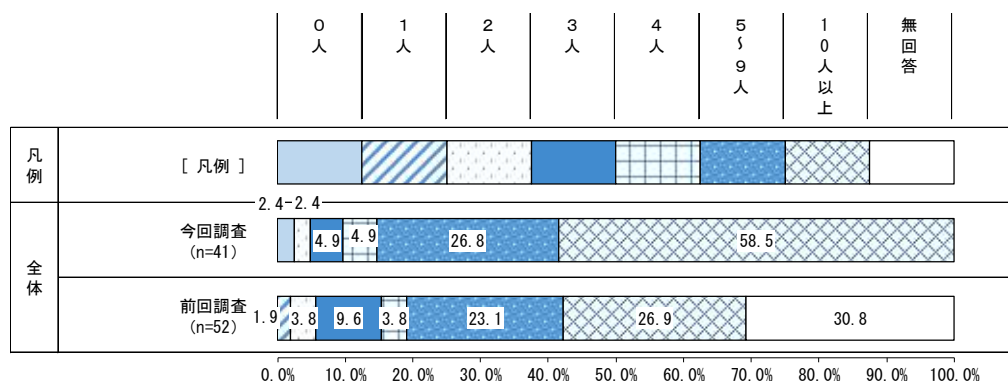
	計	総合事業 対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
市外を含む利用者数 (A)	1,435	29	241	197	480	233	122	87	46
うち守山市民(B)	1,205	17	204	174	404	193	101	75	37
うち医療的ケアが 必要な人数(C)	178	0	14	18	51	22	23	26	24
守山市民に占め る割合(C÷B)	14.8%	0.0%	6.9%	10.3%	12.6%	11.4%	22.8%	34.7%	64.9%

※各内訳より計を算出

- 市外を含む、総合事業対象者および予防の担当人数

【全体】	
○	市外を含む、総合事業対象者および予防の担当人数について、「10人以上」が58.5%と高く、次いで「5～9人」が26.8%となっています。
○	前回調査と比べると、「5～9人」「10人以上」の割合が高くなっています。

【市外を含む、総合事業対象者および予防の担当人数】

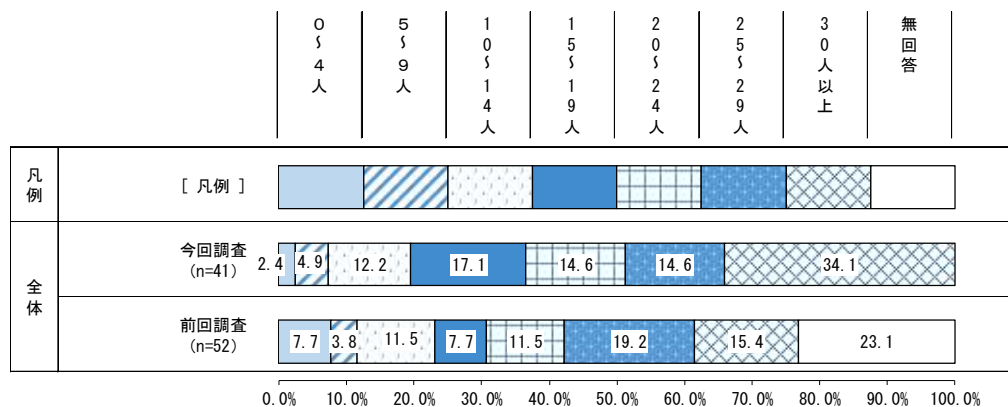


○市外を含む、介護の担当人数

【全体】

- 市外を含む、介護の担当人数について、「30 人以上」が 34.1%で最も高く、次いで「15～19 人」が 17.1%、「20～24 人」「25～29 人」が 14.6%となっています。
- 前回調査と比べると、「30 人以上」が特に高くなっています。

【市外を含む、介護の担当人数】

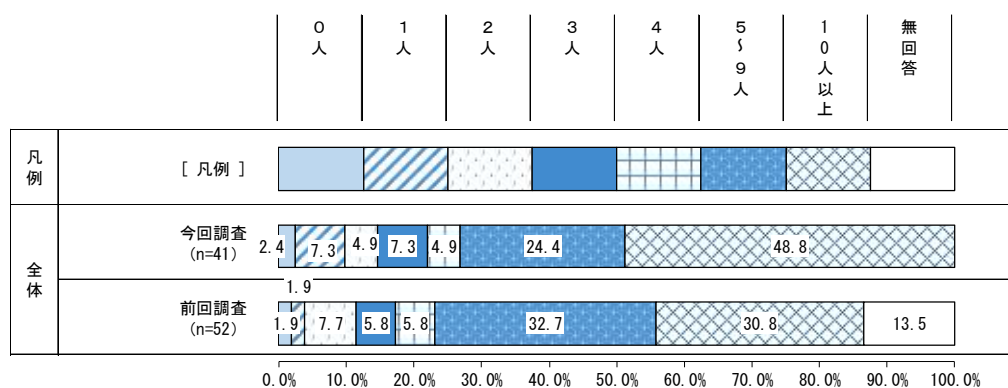


○守山市民の総合事業対象者および予防の担当人数

【全体】

- 守山市民の総合事業対象者および予防の担当人数について、「10 人以上」が 48.8%で最も高く、次いで「5～9 人」が 24.4%、「3 人」が 7.3%となっています。
- 前回調査と比べると、「10 人以上」が特に高くなっています。

【守山市民の総合事業対象者および予防の担当人数】

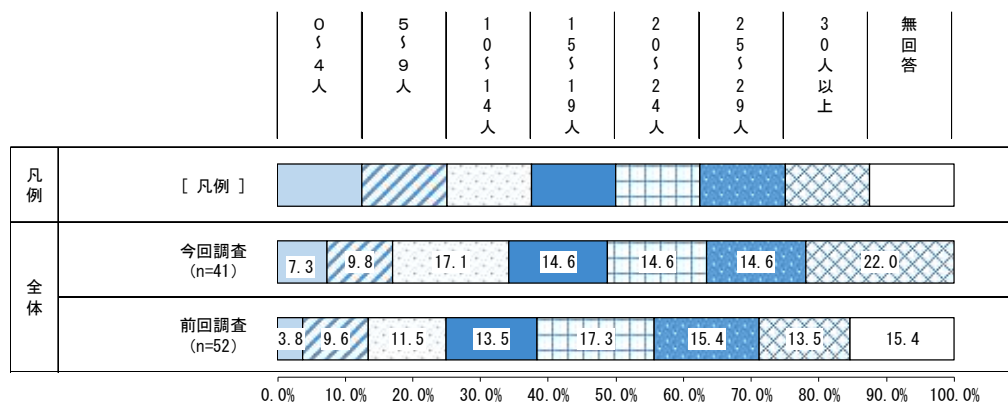


○守山市民の介護の担当人数

【全体】

- 守山市民の介護の担当人数について、「30 人以上」が 22.0%で最も高く、次いで「10～14 人」が 17.1%、「15～19 人」「20～24 人」「25～29 人」が 14.6%となっています。
- 前回調査と比べると、無回答の割合が低いこともあり、多くの項目で回答割合が高くなっています。

【守山市民の介護の担当人数】

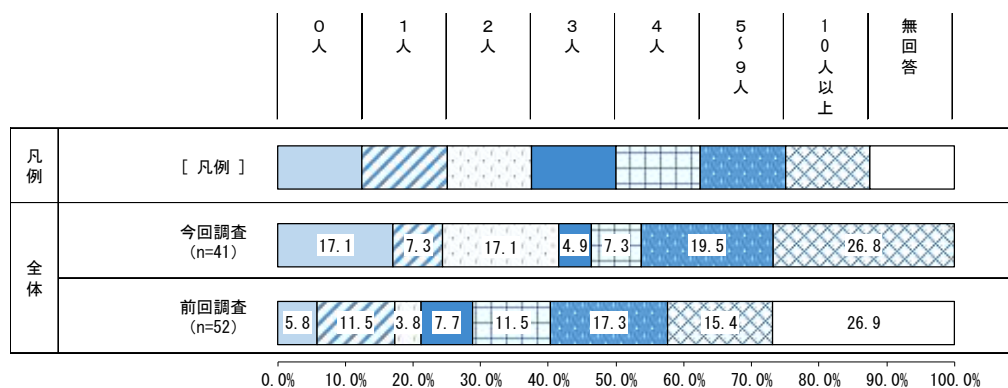


○守山市民の医療的ケアが必要な担当人数（予防・介護）

【全体】

- 守山市民の医療的ケアが必要な担当人数について、「10 人以上」が 26.8%で最も高く、次いで「5～9 人」が 19.5%、「0 人」「2 人」が 17.1%となっています。
- 前回調査に比べ、「0 人」「10 人以上」とともに高くなっています。

【守山市民の医療的ケアが必要な担当人数（予防・介護）】

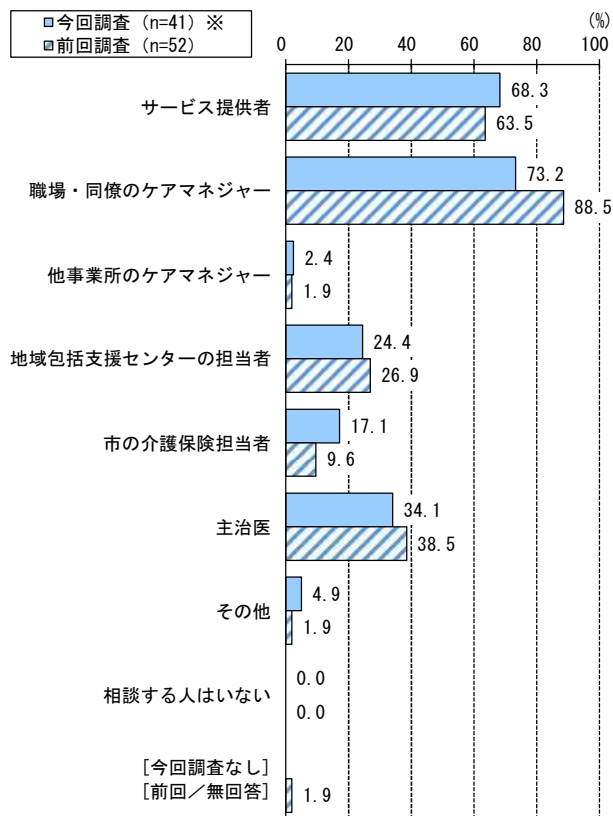


●問10 ケアプランを作成する際、主にどなたに相談していますか。(いくつでも○)

【全体】

- ケアプラン作成時の主な相談相手について、「職場・同僚のケアマネジャー」が73.2%で最も高く、次いで「サービス提供者」が68.3%、「主治医」が34.1%となっています。
- 前回調査に比べると、「サービス提供者」「市の介護保険担当者」等が高くなった一方、「職場・同僚のケアマネジャー」は低くなっています。

【ケアプラン作成時の主な相談相手】



単位：%

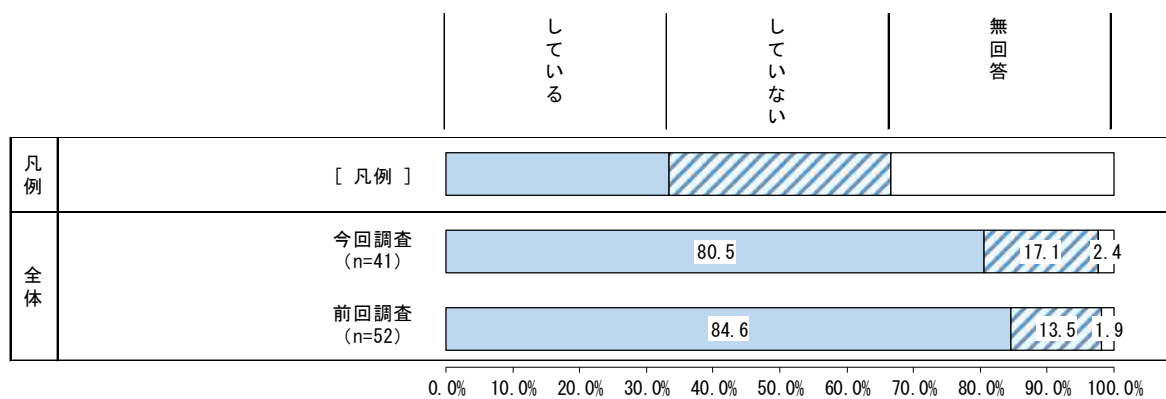
		母数	ケアプラン作成時の主な相談相手								
			サービス提供者	職場・同僚の ケアマネジャー	他事業所の ケアマネジャー	地域包括支援 センターの担 当者	市の 介護保険担 当者	主治 医	その他	相談する人 はいない	無回 答
年 齢	20歳代 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代 (n=2)	2	△100.0	△100.0	-	-	-	△100.0	-	-	-
	40歳代 (n=7)	7	71.4	△ 85.7	-	▼ 14.3	-	-	14.3	-	-
	50歳代 (n=15)	15	73.3	▼ 60.0	-	26.7	20.0	40.0	6.7	-	-
	60歳代 (n=13)	13	61.5	76.9	-	23.1	15.4	30.8	-	-	-
	70歳以上 (n=4)	4	▼ 50.0	75.0	△ 25.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	-	-	-
経 験 年 数	1 年未満 (n=1)	1	-	△100.0	-	-	-	-	-	-	-
	1 年～3 年未満 (n=4)	4	▼ 50.0	△100.0	-	-	-	25.0	△ 25.0	-	-
	3 ～5 年未満 (n=6)	6	△ 83.3	△100.0	-	-	-	▼ 16.7	△ 16.7	-	-
	5 年以上 (n=30)	30	70.0	63.3	3.3	33.3	23.3	40.0	-	-	-

- 問11 ケアプランを作成する際、地域の居場所、サロン等の地域資源やインフォーマルサービスを活用していますか。(○は1つ)

【全体】

○ 今回調査では、「している」が80.5%、「していない」が17.1%となっています。

【地域資源・インフォーマルサービスの活用状況】

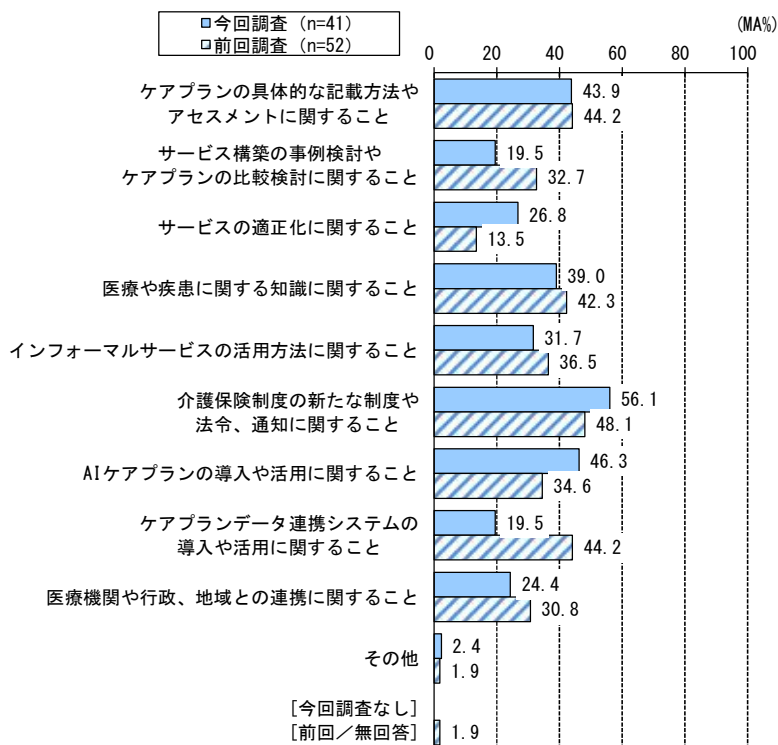


●問12 ケアプランを作成する上で、受けた研修を選んでください。(いくつでも○)

【全体】

- 受講を希望する研修内容について、「介護保険制度の新たな制度や法令、通知に関すること」が56.1%で最も高く、次いで「AI ケアプランの導入や活用に関すること」が46.3%、「ケアプランの具体的な記載方法やアセスメントに関すること」が43.9%となっています。
- 前回調査に比べると、「サービスの適正化に関すること」「AI ケアプランの導入や活用に関すること」「介護保険制度の新たな制度や法令、通知に関すること」が高くなっています。

【受講を希望する研修内容】



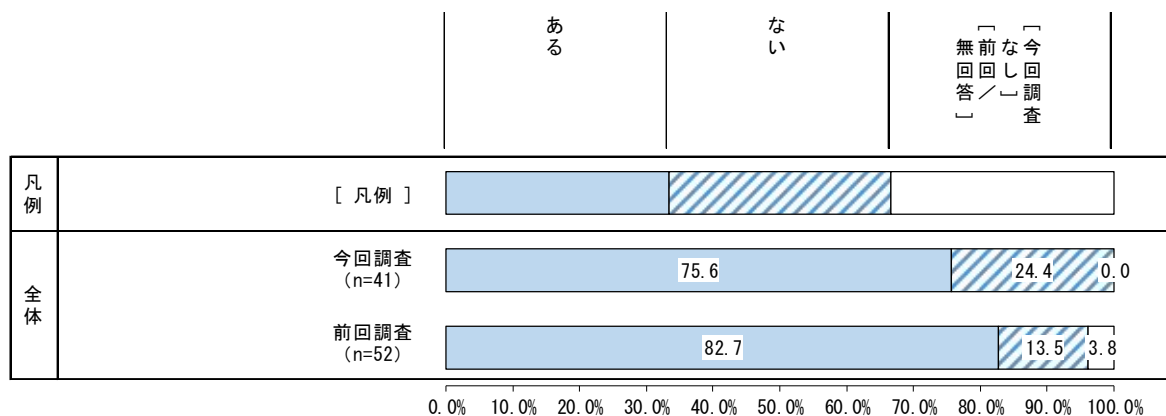
		単位：%										単位：%		
		母数	地域資源・インフォーマルサービスの活用状況							地域資源・インフォーマルサービスの活用状況				
			ケアプランの 記載方法や アセスメントに 関すること	比較検討や 事例検討に 関すること	サービス構築の プランの 関すること	サービス の適正化に 関すること	医療や疾患に 関すること	インフォーマル サービスの 活用方法に 関すること	介護保険制度 の新たな 制度や法令、 通知に 関すること	AIケアプランの 導入や活用 に 関すること	ケアプラン データの 連携システム の導入や 活用 に 関すること	地域との 連携に 関すること	医療機関や行政、 その他	無回答
年齢	20歳代（n=0）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代（n=2）	2	-	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	-	50.0	△ 100.0	-	-	-	-	-
	40歳代（n=7）	7	△ 85.7	14.3	▼ 14.3	42.9	△ 57.1	▼ 14.3	△ 71.4	28.6	▼ 14.3	-	-	-
	50歳代（n=15）	15	40.0	26.7	20.0	40.0	▼ 20.0	△ 66.7	40.0	20.0	△ 40.0	6.7	-	-
	60歳代（n=13）	13	38.5	▼ 7.7	△ 38.5	38.5	30.8	△ 69.2	38.5	15.4	15.4	-	-	-
経験年数	70歳以上（n=4）	4	▼ 25.0	25.0	25.0	▼ 25.0	△ 50.0	50.0	▼ 25.0	25.0	25.0	-	-	-
	1年未満（n=1）	1	△ 100.0	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1年～3年未満（n=4）	4	50.0	25.0	25.0	△ 50.0	25.0	▼ 25.0	50.0	-	-	△ 25.0	-	-
	3～5年未満（n=6）	6	50.0	△ 33.3	33.3	△ 50.0	33.3	▼ 33.3	△ 66.7	-	-	16.7	-	-
	5年以上（n=30）	30	40.0	13.3	26.7	36.7	33.3	△ 66.7	43.3	26.7	30.0	-	-	-

●問13 ケアプランを作成する上で、困ることはありますか。(○は1つ)

【全体】

- ケアプランを作成する上で困ることについて、「ある」が 75.6%、「ない」が 24.4%となっています。
- 前回調査に比べると、「ある」が低くなっています。

【ケアプランを作成する上で困ること】

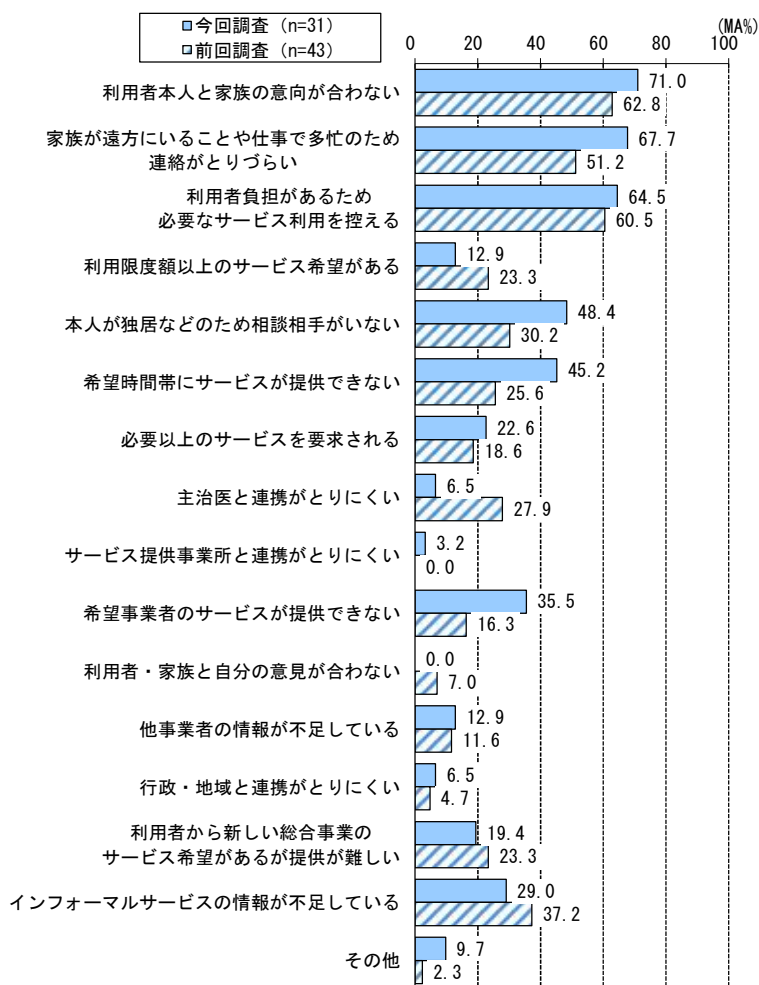


●問13-1 【問13で「1. ある」と回答された方】どのようなことで困ることがありましたか。(いくつでも○)

【全体】

- ケアプラン作成における困難の内容について、「利用者本人と家族の意向が合わない」が71.0%で最も高く、次いで「家族が遠方にいることや仕事で多忙のため連絡がとりづらい」が67.7%、「利用者負担があるため必要なサービス利用を控える」が64.5%となっています。
- 前回調査に比べると、「主治医と連携がとりにくい」が前回より21.4%低くなっています。
- また、「本人が独居などのため相談相手がいない」が前回比で18.2%高く、「家族が遠方にいることや仕事で多忙のため連絡がとりづらい」が前回比で16.5%高くなっています。

【ケアプラン作成における困難の内容】



単位：％

		母数	ケアプラン作成における困難感の有無							
			利用者本人と家族の意向が合わない	家族が遠方にいることや仕事で多忙のため連絡がとりづらい	利用者負担があるため必要なサービス利用を控える	利用限度額以上のサービス希望がある	本人が独居などのため相談相手がいない	希望時間帯にサービスが提供できない	必要以上のサービスを要求される	主治医と連携がとりにくい
経験年数	1年未満 (n=1)	1	△100.0	-	△100.0	-	-	-	-	-
	1年～3年未満 (n=4)	4	75.0	△100.0	▼50.0	-	50.0	50.0	△50.0	-
	3～5年未満 (n=6)	6	△100.0	▼50.0	△83.3	△33.3	50.0	▼16.7	△33.3	△16.7
	5年以上 (n=20)	20	▼60.0	70.0	60.0	10.0	50.0	55.0	15.0	5.0

単位：％

		母数	ケアプラン作成における困難感の有無							
			サービス提供事業所と連携がとりにくい	希望事業者のサービスが提供できない	利用者・家族と自分の意見が合わない	他事業者の情報が不足している	行政・地域と連携がとりにくい	利用者から新しい総合事業のサービス希望があるが提供が難しい	インフォーマルサービスの情報が不足している	その他
経験年数	1年未満 (n=1)	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	1年～3年未満 (n=4)	4	-	▼25.0	-	△25.0	-	-	△50.0	△25.0
	3～5年未満 (n=6)	6	△16.7	33.3	-	16.7	△16.7	△33.3	△50.0	-
	5年以上 (n=20)	20	-	40.0	-	10.0	5.0	20.0	20.0	10.0

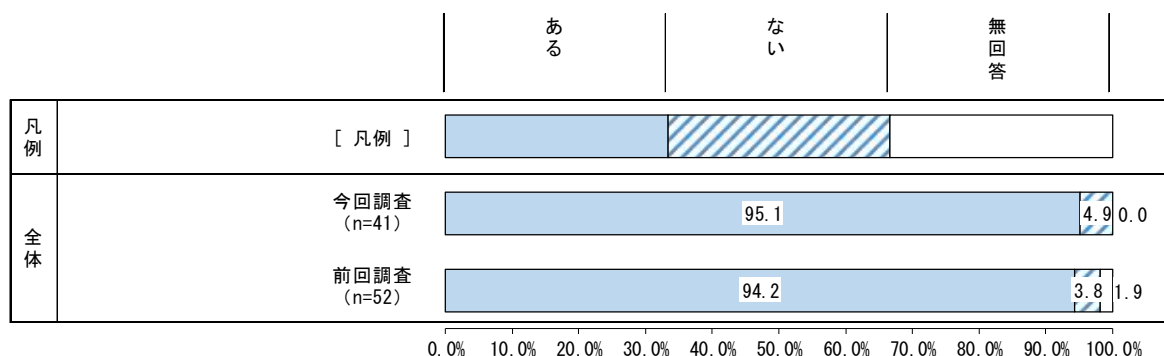
(3) 利用者やその家族からの意見や相談について

●問14 利用者やその家族から意見や相談が寄せられることがありますか。(○は1つ)

【全体】

○ 利用者・家族からの意見・相談の有無について、「ある」が 95.1%、「ない」が 4.9%となっています。

【利用者・家族からの意見・相談の有無】



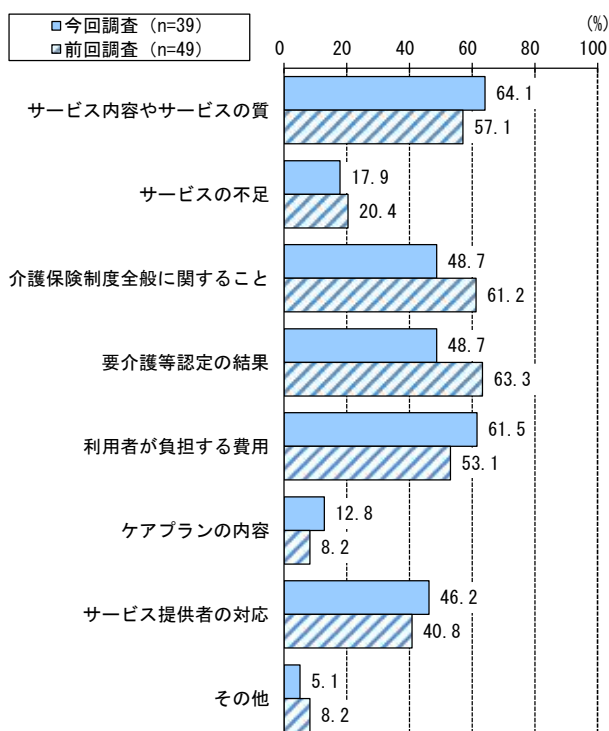
●問14-1 【問14で「1. ある」と回答された方】意見や相談はどのような内容でしたか。(いくつでも○)

【全体】

○ 寄せられた意見・相談の内容について、「サービス内容やサービスの質」が 64.1%で最も高く、次いで「利用者が負担する費用」が 61.5%、「介護保険制度全般に関すること」「要介護等認定の結果」が 48.7%となっています。

○ 前回調査に比べると、「サービス内容やサービスの質」「利用者が負担する費用」「サービス提供者の対応」が高くなっています。

【寄せられた意見・相談の内容】



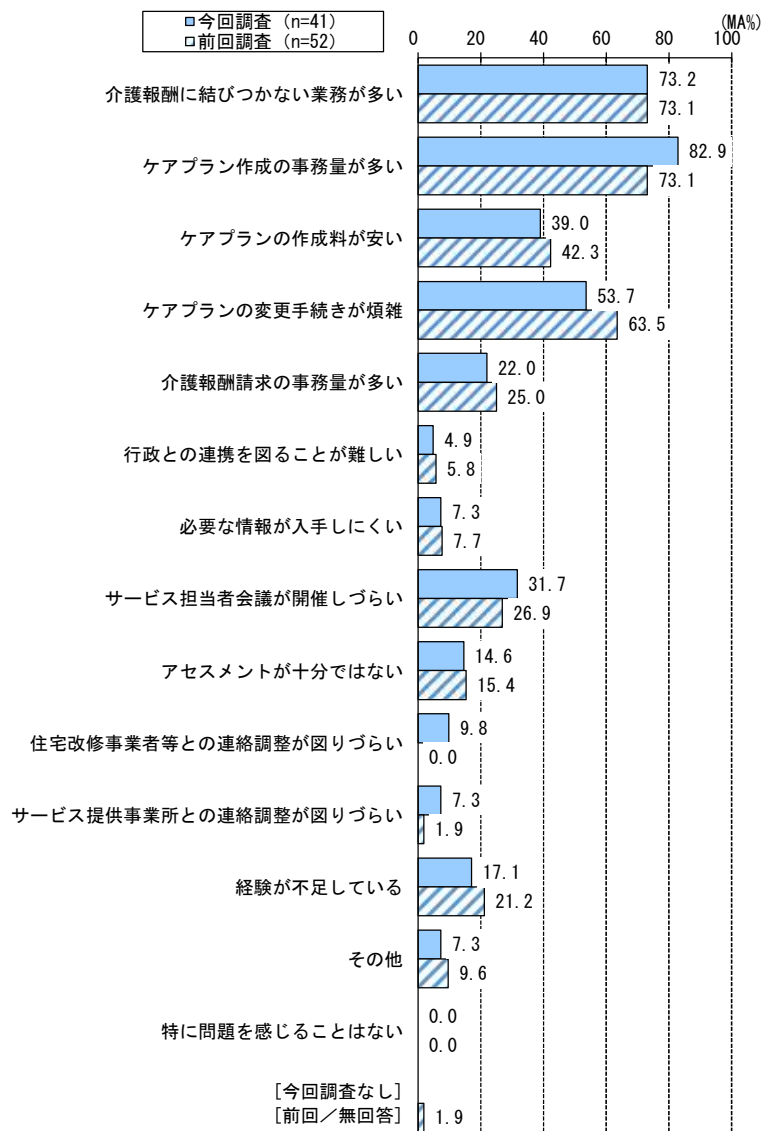
3. 介護保険サービスについて

(1) 業務上の課題について

- 問15 自分自身や他のケアマネジャーが円滑に業務を行う上での課題は何ですか。(いくつでも○)

【全体】	
○	業務上の課題について、「ケアプラン作成の事務量が多い」が 82.9%で最も高く、次いで「介護報酬に結びつかない業務が多い」が 73.2%、「ケアプランの変更手続きが煩雑」が 53.7%となっています。
○	前回調査に比べると、「ケアプラン作成の事務量が多い」の割合が高くなっています。

【業務上の課題】



【経験年数】

- 1年～3年未満では、「ケアプラン作成の事務量が多い」「経験が不足している」が75.0%で最も高く、次いで「介護報酬に結びつかない業務が多い」が50.0%、「アセスメントが十分ではない」「その他」が25.0%となっています。
- 3～5年未満では、全員が「介護報酬に結びつかない業務が多い」「ケアプラン作成の事務量が多い」と回答しており、次いで「ケアプランの変更手続きが煩雑」が83.3%、「ケアプランの作成料が安い」「サービス担当者会議が開催しづらい」が66.7%となっています。
- 5年以上では、「ケアプラン作成の事務量が多い」が83.3%で最も高く、次いで「介護報酬に結びつかない業務が多い」が73.3%、「ケアプランの変更手続きが煩雑」が56.7%となっています。

単位：％

		母数	寄せられた意見・相談の内容							
			介護報酬に結びつかない業務が多い	ケアプラン作成の事務量が多い	ケアプランの作成料が安い	ケアプランの変更手続きが煩雑	介護報酬請求の事務量が多い	行政との連携を図ることが難しい	必要な情報が入手しにくい	サービス担当者会議が開催しづらい
経験年数	1年未満（n=1）	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	1年～3年未満（n=4）	4	▼ 50.0	75.0	-	-	-	-	-	-
	3～5年未満（n=6）	6	△ 100.0	△ 100.0	△ 66.7	△ 83.3	16.7	-	△ 33.3	△ 66.7
	5年以上（n=30）	30	73.3	83.3	40.0	56.7	26.7	6.7	3.3	30.0

単位：％

経験年数	母数	寄せられた意見・相談の内容						
		アセスメントが十分ではない	住宅改修事業者等との連絡調整が図りづらい	サービス提供事業所との連絡調整が図りづらい	経験が不足している	その他	特に問題を感じることはない	「前回調査なし」「前回／無回答」
1年未満 (n=1)	1	-	-	-	△ 100.0	-	-	-
1年～3年未満 (n=4)	4	△ 25.0	-	-	△ 75.0	△ 25.0	-	-
3～5年未満 (n=6)	6	16.7	△ 33.3	16.7	16.7	-	-	-
5年以上 (n=30)	30	13.3	6.7	6.7	▼ 6.7	6.7	-	-

(2) サービスの過不足について

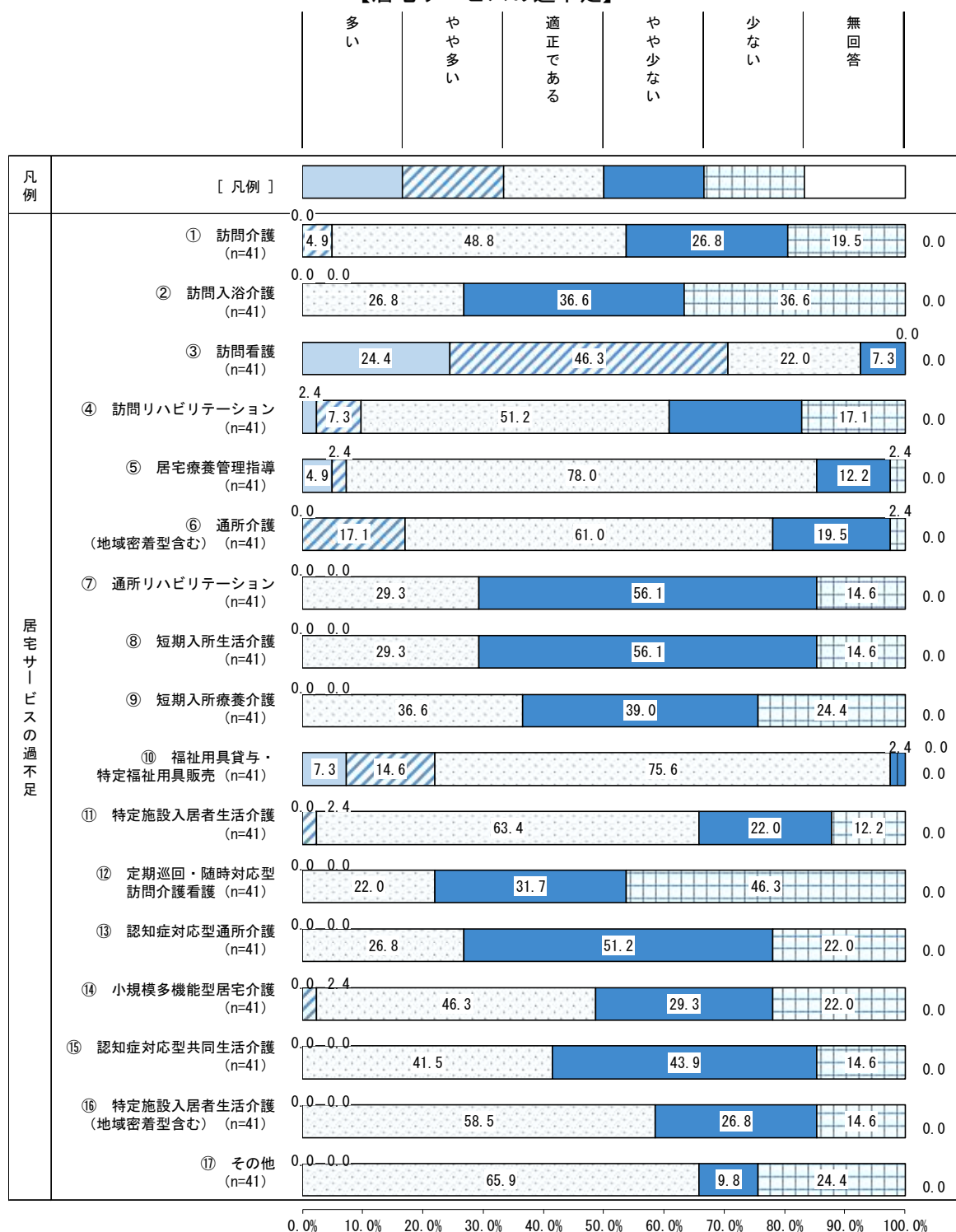
●問16 介護サービスの現状において、過不足についてどのように感じていますか。

(1) 居宅サービス

【全体】

- 居宅サービスの過不足について、「多い」「やや多い」を合わせた“多い”の割合は、[③訪問看護]が70.7%で最も高く、次いで[⑩福祉用具貸与・特定福祉用具販売]が21.9%、[⑥通所介護（地域密着型含む）]が17.1%となっています。
- 「少ない」「やや少ない」を合わせた“少ない”の割合は、[⑫定期巡回・随時対応型訪問介護看護]が78.0%で最も高く、次いで[②訪問入浴介護]、[⑬認知症対応型通所介護]で73.2%、[⑦通所リハビリテーション]、[⑧短期入所生活介護]で70.7%となっています。

【居宅サービスの過不足】

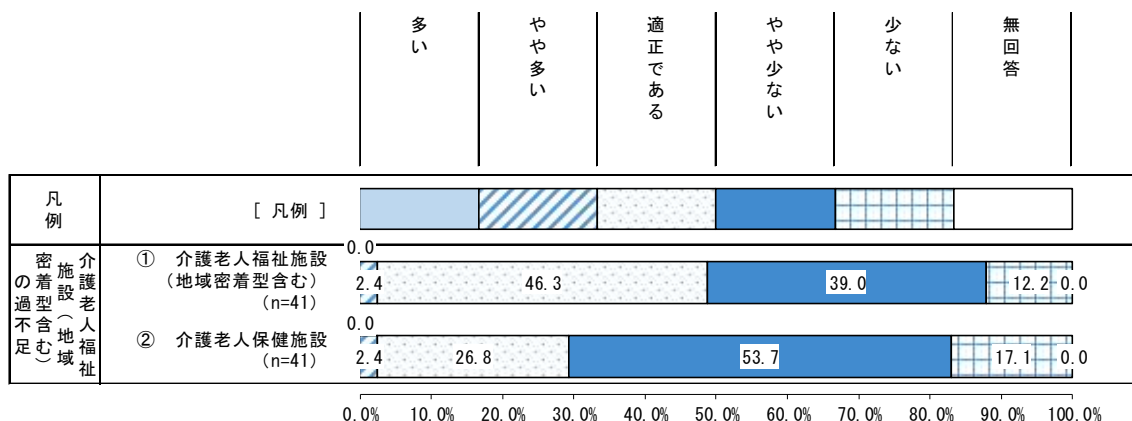


●問16 介護サービスの現状において、過不足についてどのように感じていますか。

(2) 施設サービス

【全体】	
○	施設サービスの過不足について、「多い」「やや多い」を合わせた“多い”は、[①介護老人福祉施設（地域密着型含む）]、[②介護老人保健施設]ともに2.4%となっています。
○	[①介護老人福祉施設（地域密着型含む）]は、約5割が「適正である」または“多い”と回答しています。
○	「少ない」「やや少ない」を合わせた“少ない”は、[①介護老人福祉施設（地域密着型含む）]で51.2%、[②介護老人保健施設]で70.8%となっています。

【施設サービスの過不足】

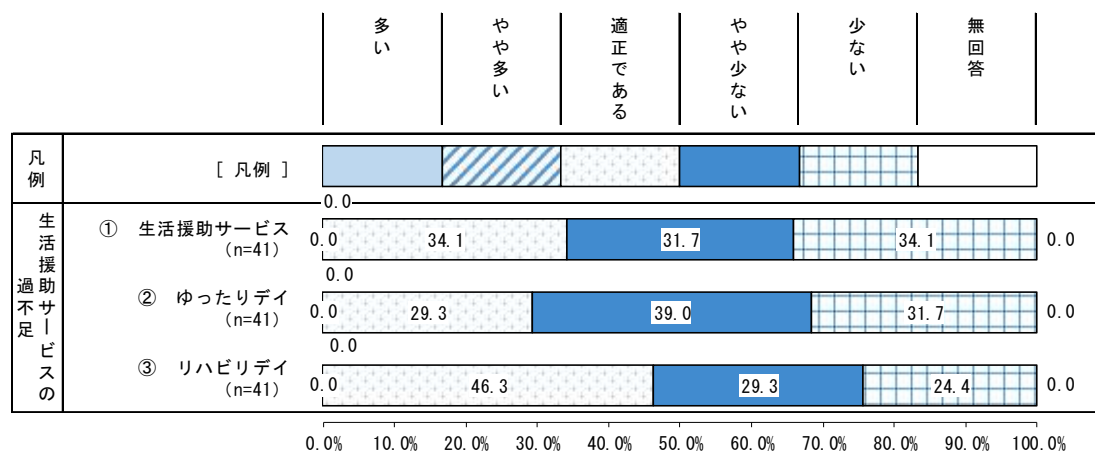


●問16 介護サービスの現状において、過不足についてどのように感じていますか。

(3) 総合事業

【全体】	
○	総合事業の過不足について、「多い」「やや多い」の回答はみられませんでした。
○	「少ない」「やや少ない」を合わせた“少ない”は、生活援助サービスで65.8%、ゆったりデイで70.7%、リハビリデイで53.7%となっています。

【総合事業の過不足】



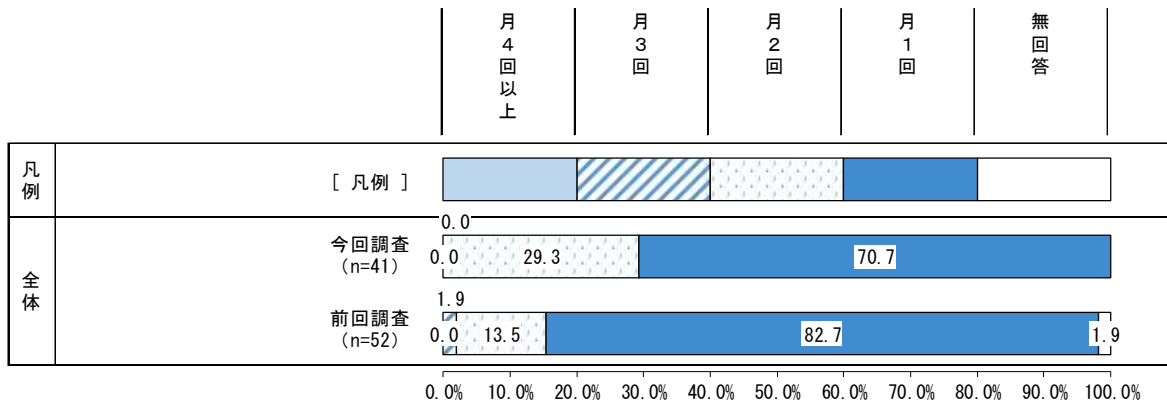
4. 他機関・団体等との連携について

(1) 利用者や家族への訪問頻度について

- 問17 利用者1人に対して、利用者や家族への平均的な訪問頻度はどのくらいですか。(○は1つ) (1) 要介護の方への訪問

【全体】
○ 利用者宅への訪問頻度（要介護）について、「月1回」が70.7%で最も高く、次いで「月2回」が29.3%となっています。

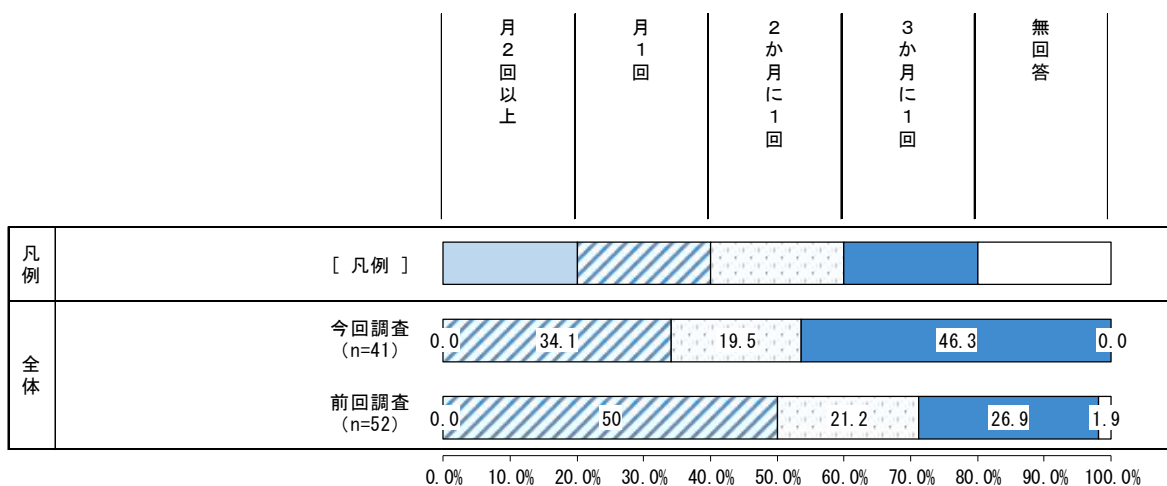
【利用者宅への訪問頻度（要介護）】



- 問17 利用者1人に対して、利用者や家族への平均的な訪問頻度はどのくらいですか。(○は1つ) (2) 要支援・事業対象者（総合事業）の方への訪問

【全体】
○ 利用者宅への訪問頻度（要支援・事業対象）について、「3か月に1回」が46.3%で最も高く、次いで「月1回」が34.1%、「2か月に1回」が19.5%となっています。

【利用者宅への訪問頻度（要支援・事業対象）】



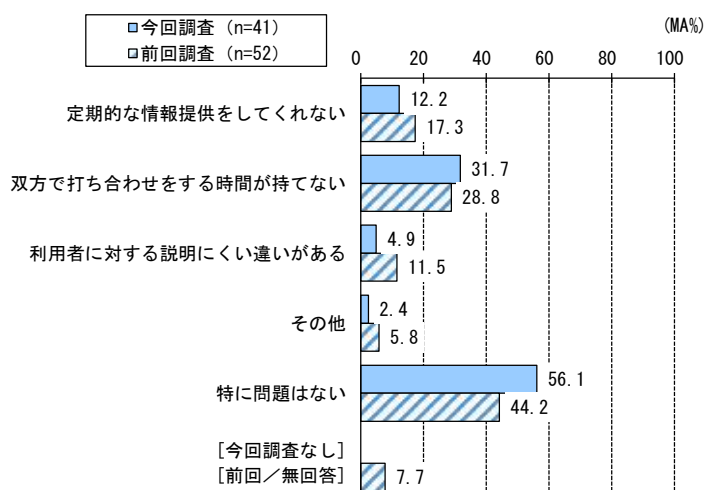
(2) サービス提供事業所との関係における課題について

- 問18 サービス提供事業所との関係における課題はどのようなことですか。(いくつでも○)

【全体】

- サービス提供事業所との関係における課題について、「特に問題はない」が56.1%で最も高く、次いで「双方で打ち合わせをする時間が持てない」が31.7%、「定期的な情報提供をしてくれない」が12.2%となっています。
- 前回調査に比べると、「特に問題はない」「双方で打ち合わせをする時間が持てない」が高くなっています。

【サービス提供事業所との関係における課題】



(3) 主治医との連絡について

●問19 主治医とはどのような方法で連絡をとっていますか。(いくつでも○)

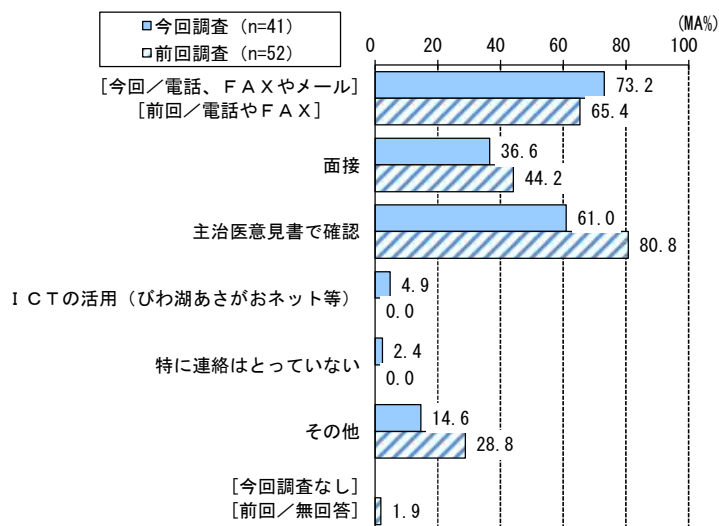
【全体】

- 主治医との連絡手段について、「電話、FAXやメール」が73.2%で最も高く、次いで「主治医意見書で確認」が61.0%、「面接」が36.6%となっています。
- 前回調査に比べると、「電話、FAXやメール（前回調査では「電話やFAX」）」が高くなっています。

【経験年数】

- 1年未満では、全員が「電話、FAXやメール」「主治医意見書で確認」と回答しています。
- 1年～3年未満では、「主治医意見書で確認」「その他」が50.0%で最も高く、次いで「電話、FAXやメール」「面接」が25.0%となっています。
- 3～5年未満では、「電話、FAXやメール」が66.7%で最も高く、次いで「面接」「主治医意見書で確認」が50.0%、「その他」が16.7%となっています。
- 5年以上では、「電話、FAXやメール」が80.0%で最も高く、次いで「主治医意見書で確認」が63.3%、「面接」が36.7%となっています。

【主治医との連絡手段】



単位：%

		サービス提供事業所との関係における課題							
		母数	「前回/電話、FAXやメール」	面接	主治医意見書で確認	ICTの活用（びわ湖あさがおネット等）	特に連絡はとっていない	その他	「前回/調査なし」
経験年数	1年未満 (n=1)	1	△100.0	-	△100.0	-	-	-	-
	1年～3年未満 (n=4)	4	▼25.0	▼25.0	▼50.0	-	-	△50.0	-
	3～5年未満 (n=6)	6	66.7	△50.0	▼50.0	-	-	16.7	-
	5年以上 (n=30)	30	80.0	36.7	63.3	6.7	3.3	10.0	-

●問20 主治医とはどのようなことについて連携をとっていますか。(いくつでも○)

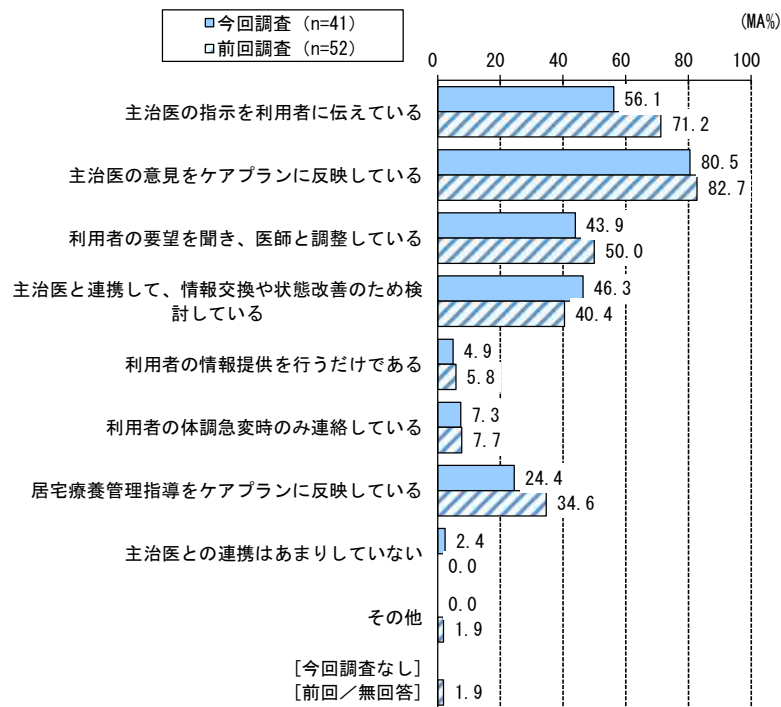
【全体】

- 主治医との連携内容について、「主治医の意見をケアプランに反映している」が80.5%で最も高く、次いで「主治医の指示を利用者に伝えている」が56.1%、「主治医と連携して、情報交換や状態改善のため検討している」が46.3%となっています。
- 前回調査に比べると、「主治医と連携して、情報交換や状態改善のため検討している」「主治医との連携はあまりしていない」が高くなった一方、その他の項目は低くなっています。

【経験年数】

- 1年～3年未満では、「主治医の意見をケアプランに反映している」が75.0%で最も高く、次いで「主治医と連携して、情報交換や状態改善のため検討している」が50.0%、「主治医の指示を利用者に伝えている」「利用者の要望を聞き、医師と調整している」「利用者の体調急変時のみ連絡している」が25.0%となっています。
- 3～5年未満では、「主治医の意見をケアプランに反映している」が83.3%で最も高く、次いで「主治医の指示を利用者に伝えている」が50.0%、「利用者の要望を聞き、医師と調整している」「主治医と連携して、情報交換や状態改善のため検討している」「利用者の情報提供を行うだけである」「利用者の体調急変時のみ連絡している」が16.7%となっています。
- 5年以上では、「主治医の意見をケアプランに反映している」が80.0%で最も高く、次いで「主治医の指示を利用者に伝えている」が60.0%、「利用者の要望を聞き、医師と調整している」「主治医と連携して、情報交換や状態改善のため検討している」が53.3%となっています。

【主治医との連携内容】



単位：%

		母数	主治医との連絡手段											単位：%
			主治 医の 指示 を 利 用 者 に 伝 え て い る	主治 医の 意見 を 反 映 し て い る	利 用 者 の 要 望 を 聞 き 、 医 師 と 調 整 し て い る	主治 医と 連携 して 、 情報 交換 や状 態改 善の ため 検討 して い る	利 用 者 の 情 報 提 供 を 行 う だ け で あ る	利 用 者 の 体 調 急 変 時 の み 連 絡 し て い る	居 宅 療 養 管 理 指 導 を ケ ア プ ラ ン に 反 映 し て い る	主治 医と の連 携は あ ま り し て い な い	そ の 他	「前 回 ／ 無 回 答 」		
経験 年 数	1年未満 (n=1)	1	△100.0	△100.0	-	-	-	-	△100.0	-	-	-	-	
	1年～3年未満 (n=4)	4	▼25.0	75.0	▼25.0	50.0	-	△25.0	-	-	-	-	-	
	3～5年未満 (n=6)	6	50.0	83.3	▼16.7	▼16.7	△16.7	16.7	-	-	-	-	-	
	5年以上 (n=30)	30	60.0	80.0	53.3	53.3	3.3	3.3	30.0	3.3	-	-	-	

●問 21 主治医との連携を図る上での課題は何ですか。(いくつでも○)

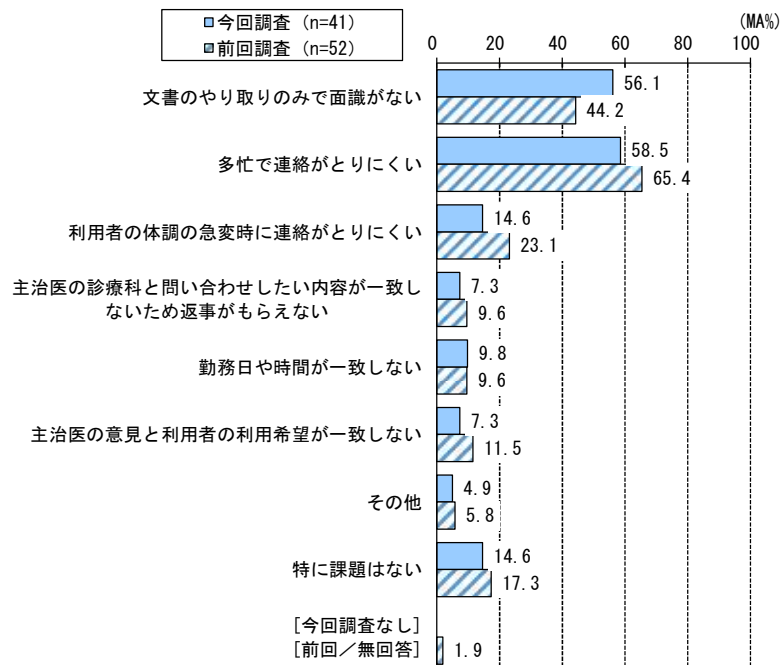
【全体】

- 主治医との連携における課題について、「多忙で連絡がとりにくい」が58.5%で最も高く、次いで「文書のやり取りのみで面識がない」が56.1%、「利用者の体調の急変時に連絡がとりにくい」「特に課題はない」が14.6%となっています。
- 前回調査に比べると、「文書のやり取りのみで面識がない」が特に高くなっています。

【経験年数】

- 1年～3年未満では、全員が「文書のやり取りのみで面識がない」と回答しており、次いで「多忙で連絡がとりにくい」が50.0%となっています。
- 3～5年未満では、全員が「文書のやり取りのみで面識がない」と回答しており、次いで「多忙で連絡がとりにくい」が66.7%、「主治医の診療科と問い合わせたい内容が一致しないため返事がもらえない」が33.3%となっています。
- 5年以上では、「多忙で連絡がとりにくい」が60.0%で最も高く、次いで「文書のやり取りのみで面識がない」が40.0%、「特に課題はない」が20.0%となっています。

【主治医との連携における課題】



単位：％

		母数	主治医との連携内容									単位：%
			文書のやり取りのみで面識がない	多忙で連絡がとりにくい	利用者の体調の急変時に連絡がとりにく	主治医の診療科と問い合わせたい内容	勤務日や時間が一致しない	主治医の意見と利用者の利用希望が一致しない	その他	特に課題はない	「今回調査なし」 「前回／無回答」	
経験年数	1年未満（n=1）	1	△100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1年～3年未満（n=4）	4	△100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	
	3～5年未満（n=6）	6	△100.0	66.7	16.7	△33.3	-	16.7	-	-	-	
	5年以上（n=30）	30	▼40.0	60.0	16.7	3.3	13.3	6.7	6.7	20.0	-	

(4) 歯科医師との連絡について

●問22 歯科医師とはどのような方法で連絡をとっていますか。(いくつでも○)

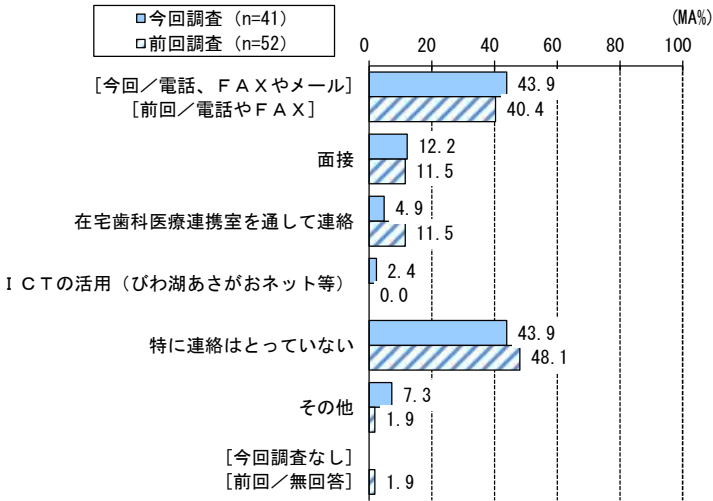
【全体】

- 歯科医師との連絡手段について、「電話、FAXやメール」「特に連絡はとっていない」が43.9%で最も高く、次いで「面接」が12.2%、「その他」が7.3%となっています。
- 前回調査に比べると、「電話、FAXやメール（前回調査では「電話やFAX」）」などが高くなっています。

【経験年数】

- 1年～3年未満では、「特に連絡はとっていない」が75.0%で最も高く、次いで「電話、FAXやメール」が25.0%となっています。
- 3～5年未満では、全員が「特に連絡はとっていない」と回答しています。
- 5年以上では、「電話、FAXやメール」が56.7%で最も高く、次いで「特に連絡はとっていない」が26.7%、「面接」が16.7%となっています。

【歯科医師との連絡手段】



単位：%

		歯科医師との連携における課題						
		母数	「前回/電話、FAXやメール」	面接	在宅歯科医療連携室を通して連絡	ICTの活用（びわ湖あさがおネット等）	特に連絡はとっていない	その他
経験年数	1年未満 (n=1)	1	-	-	-	-	△100.0	-
	1年～3年未満 (n=4)	4	▼25.0	-	-	-	△75.0	-
	3～5年未満 (n=6)	6	-	-	-	-	△100.0	-
	5年以上 (n=30)	30	△56.7	16.7	6.7	3.3	▼26.7	10.0

●問23 歯科医師とはどのようなことについて連携をとっていますか。(いくつでも○)

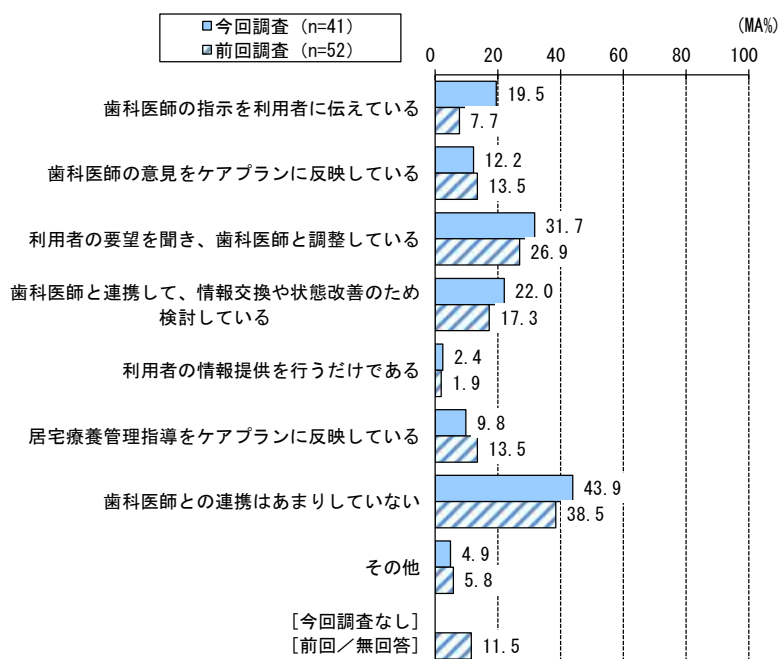
【全体】

- 歯科医師との連携内容について、「歯科医師との連携はあまりしていない」が43.9%で最も高く、次いで「利用者の要望を聞き、歯科医師と調整している」が31.7%、「歯科医師と連携して、情報交換や状態改善のため検討している」が22.0%となっています。
- 前回調査に比べると、「歯科医師の指示を利用者に伝えている」「利用者の要望を聞き、歯科医師と調整している」「歯科医師との連携はあまりしていない」などが高くなっています。

【経験年数】

- 1年～3年未満では、「歯科医師との連携はあまりしていない」「その他」が50.0%で最も高く、次いで「歯科医師と連携して、情報交換や状態改善のため検討している」が25.0%となっています。
- 3～5年未満では、全員が「歯科医師との連携はあまりしていない」と回答しています。
- 5年以上では、「利用者の要望を聞き、歯科医師と調整している」が43.3%で最も高く、次いで「歯科医師との連携はあまりしていない」が30.0%、「歯科医師の指示を利用者に伝えている」「歯科医師と連携して、情報交換や状態改善のため検討している」が26.7%となっています。

【歯科医師との連携内容】



単位：%

		母数	歯科医師との連絡手段							その他	「前回調査なし」	「今回調査なし」
経験年数	母数		歯科医師の指示を利用者に伝えている	歯科医師の意見をケアプランに反映している	利用者の要望を聞き、歯科医師と調整している	歯科医師と連携して、情報交換や状態改善のため検討している	利用者の情報提供を行うだけである	居宅療養管理指導をケアプランに反映している	歯科医師との連携はあまりしていない			
1年未満 (n=1)	1	-	-	-	-	-	-	-	△100.0	-	-	-
1年～3年未満 (n=4)	4	-	-	-	-	25.0	-	-	50.0	△50.0	-	-
3～5年未満 (n=6)	6	-	-	-	-	-	-	-	△100.0	-	-	-
5年以上 (n=30)	30	26.7	16.7	△43.3	26.7	3.3	13.3	▼30.0	-	-	-	-

●問24 口腔ケアに関して歯科医師との連携を図る上での課題は何ですか。(いくつでも○)

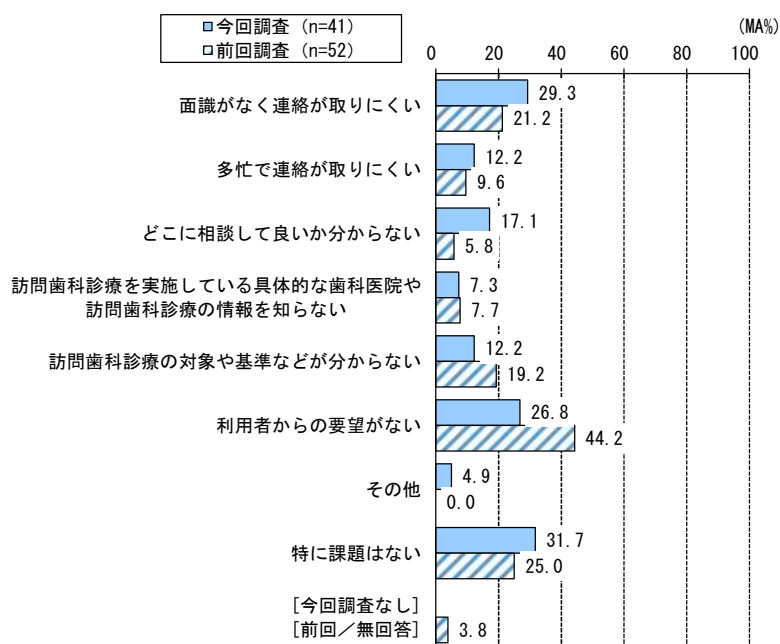
【全体】

- 歯科医師との連携における課題について、「特に課題はない」が31.7%で最も高く、次いで「面識がなく連絡が取りにくい」が29.3%、「利用者からの要望がない」が26.8%となっています。
- 前回調査に比べると、「どこに相談していいか分からない」「面識がなく連絡が取りにくい」などが高くなっています。

【経験年数】

- 1年～3年未満では、「訪問歯科診療の対象や基準などが分からない」「利用者からの要望がない」が50.0%で最も高く、次いで「面識がなく連絡が取りにくい」「どこに相談していいか分からない」「訪問歯科診療を実施している具体的な歯科医院や訪問歯科診療の情報を知らない」「その他」が25.0%となっています。
- 3～5年未満では、「面識がなく連絡が取りにくい」が66.7%で最も高く、次いで「どこに相談していいか分からない」が50.0%、「多忙で連絡が取りにくい」「利用者からの要望がない」が16.7%となっています。
- 5年以上では、「特に課題はない」が43.3%で最も高く、次いで「面識がなく連絡が取りにくい」「利用者からの要望がない」が23.3%、「多忙で連絡が取りにくい」が13.3%となっています。

【歯科医師との連携における課題】



単位：%

		母数	歯科医師との連携内容									
			面識がなく連絡が取りにくい	多忙で連絡が取りにくい	どこに相談して良いか分からない	訪問歯科診療を実施している具体的な歯科医院や訪問歯科診療の情報を知らない	訪問歯科診療の対象や基準などが分からない	利用者からの要望がない	その他	特に課題はない	「今回調査なし」 「前回／無回答」	
経験年数	1年未満 (n=1)	1	-	-	-	-	△100.0	△100.0	-	-	-	
	1年～3年未満 (n=4)	4	25.0	-	25.0	△25.0	△50.0	△50.0	△25.0	-	-	
	3～5年未満 (n=6)	6	△66.7	16.7	△50.0	-	-	▼16.7	-	-	-	
	5年以上 (n=30)	30	23.3	13.3	10.0	6.7	6.7	23.3	3.3	△43.3	-	

(5) 入院先の医師との連絡について

- 問25 入退院において入院先の医師とはどのような方法で連絡をとっていますか。(いくつでも○)

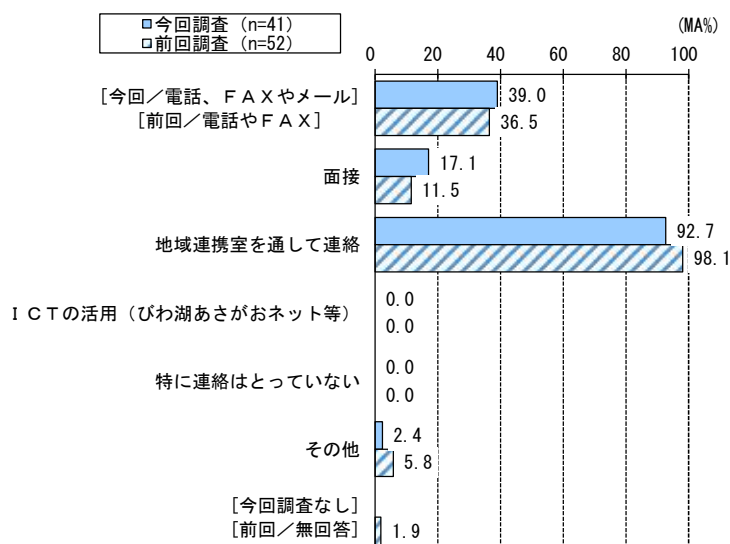
【全体】

- 入院先医師との連絡手段について、「地域連携室を通して連絡」が92.7%で最も高く、次いで「電話、FAXやメール」が39.0%、「面接」が17.1%となっています。
- 前回調査に比べると、「電話、FAXやメール（前回調査では「電話やFAX」）」「面接」が高くなっています。

【経験年数】

- 1年～3年未満では、全員が「地域連携室を通して連絡」と回答しており、次いで「電話、FAXやメール」「その他」が25.0%となっています。
- 3～5年未満では、全員が「地域連携室を通して連絡」と回答しており、次いで「電話、FAXやメール」が33.3%となっています。
- 5年以上では、「地域連携室を通して連絡」が90.0%で最も高く、次いで「電話、FAXやメール」が43.3%、「面接」が23.3%となっています。

【入院先医師との連絡手段】



単位：%

		歯科医師との連携における課題						
経験年数	母数	母数						
		「今回/電話、FAXやメール」	面接	地域連携室を通して連絡	ICTの活用（びわ湖あさがおネット等）	特に連絡はとっていない	その他	「今回調査なし」
1年未満 (n=1)	1	-	-	100.0	-	-	-	-
1年～3年未満 (n=4)	4	▼ 25.0	-	100.0	-	-	△ 25.0	-
3～5年未満 (n=6)	6	33.3	-	100.0	-	-	-	-
5年以上 (n=30)	30	43.3	23.3	90.0	-	-	-	-

- 問26 入退院において入院先の病院との連携を図る上での課題は何ですか。(いくつでも○)

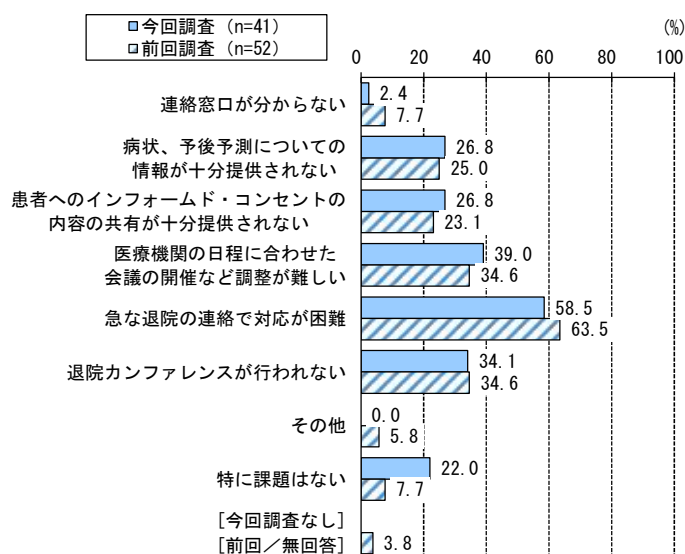
【全体】

- 入院先の病院との連携課題について、「急な退院の連絡で対応が困難」が 58.5%で最も高く、次いで「医療機関の日程に合わせた会議の開催など調整が難しい」が 39.0%、「退院カンファレンスが行われない」が 34.1%となっています。
- 前回調査に比べると、「医療機関の日程に合わせた会議の開催など調整が難しい」「患者へのインフォームド・コンセン特的内容の共有が十分提供されない」などが高くなっています。

【経験年数】

- 1年～3年未満では、全員が「急な退院の連絡で対応が困難」と回答しており、次いで「医療機関の日程に合わせた会議の開催など調整が難しい」が 75.0%、「退院カンファレンスが行われない」が 50.0%となっています。
- 3～5年未満では、全員が「患者へのインフォームド・コンセン特的内容の共有が十分提供されない」と回答しており、次いで「病状、予後予測についての情報が十分提供されない」「急な退院の連絡で対応が困難」「退院カンファレンスが行われない」が 66.7%、「医療機関の日程に合わせた会議の開催など調整が難しい」が 33.3%となっています。
- 5年以上では、「急な退院の連絡で対応が困難」が 53.3%で最も高く、次いで「医療機関の日程に合わせた会議の開催など調整が難しい」が 36.7%、「退院カンファレンスが行われない」「特に課題はない」が 26.7%となっています。

【入院先の病院との連携課題】



単位：%

		母数	入院先医師との連絡手段									単位：%
			連絡窓口が分からない	病状、予後予測についての情報が十分提供されない	患者へのインフォームド・コンセントの内容の共有が十分提供されない	医療機関の日程に合わせた会議の開催など調整が難しい	急な退院の連絡で対応が困難	退院カンファレンスが行われない	その他	特に課題はない	「前回調査なし」 「前回／無回答」	
経験年数	1年未満 (n=1)	1	-	-	-	-	-	-	-	△100.0	-	
	1年～3年未満 (n=4)	4	-	25.0	-	△75.0	△100.0	△50.0	-	-	-	
	3～5年未満 (n=6)	6	-	△66.7	△100.0	33.3	66.7	△66.7	-	-	-	
	5年以上 (n=30)	30	3.3	20.0	▼16.7	36.7	53.3	26.7	-	26.7	-	

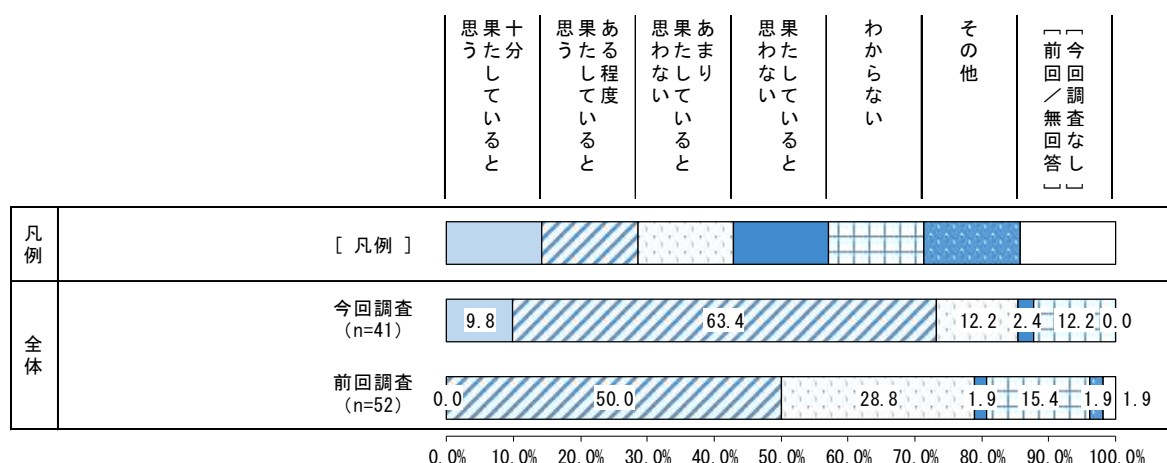
(6) 地域包括支援センターについて

- 問27 現在、地域包括支援センターが、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう取組を行っていますが、その役割を果たしていると思いますか。(○は1つ)

【全体】

- 地域包括支援センターの役割遂行評価について、「ある程度果たしていると思う」が63.4%で最も高く、次いで「あまり果たしていると思わない」「わからない」が12.2%、「十分果たしていると思う」が9.8%となっています。
- 前回調査に比べると、「十分果たしている」「ある程度果たしている」を合わせた“はたしている”の割合が高くなっています。

【地域包括支援センターの役割遂行評価】

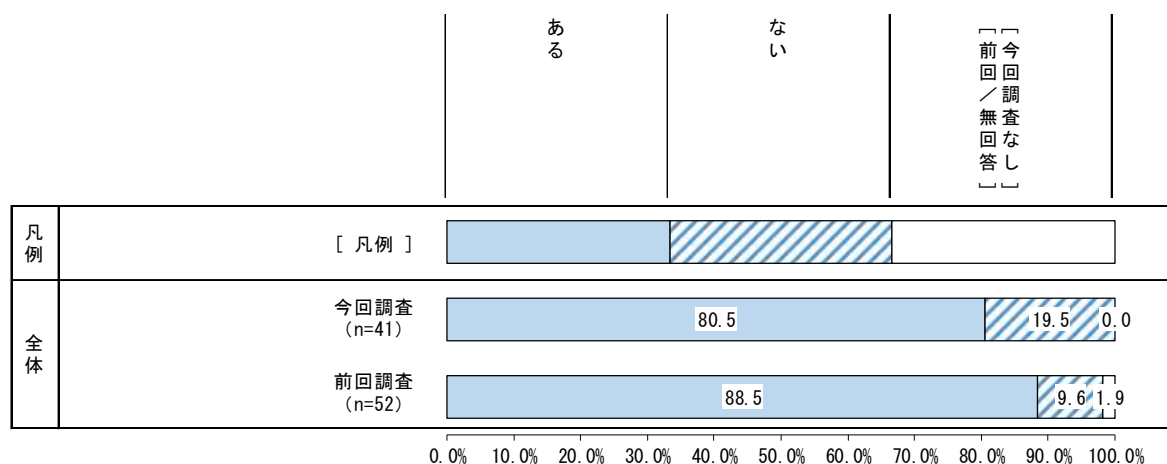


- 問28 困難事例などを地域包括支援センターに相談したことがありますか。(○は1つ)

【全体】

- 地域包括支援センターへの困難事例相談経験について、「ある」が80.5%、「ない」が19.5%となっています。

【地域包括支援センターへの困難事例相談経験】



- 問28-1 【問28で「1. ある」と回答された方】相談したことによって、問題解決に役立ちましたか。(○は1つ)

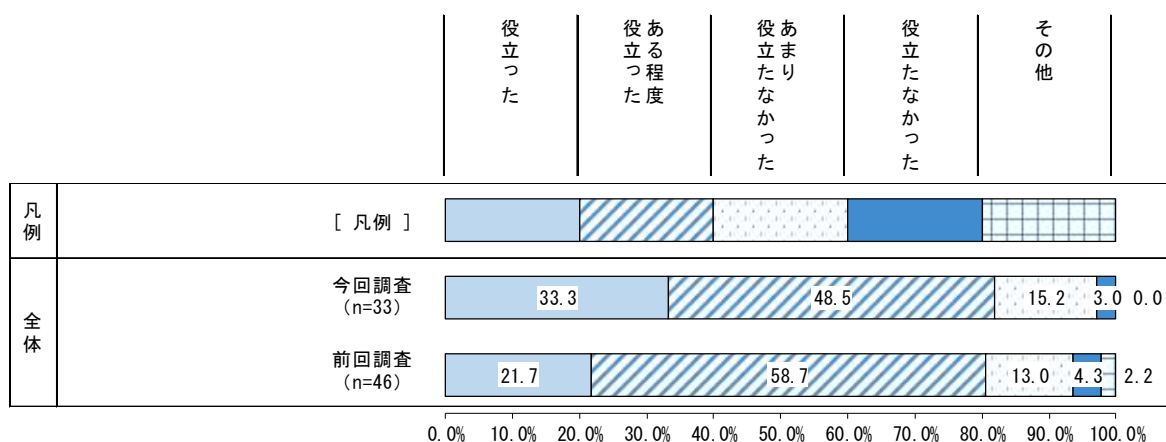
【全体】

- 困難事例相談による問題解決の効果について、「ある程度役立った」が48.5%で最も高く、次いで「役立った」が33.3%、「あまり役立たなかった」が15.2%となっています。
- 前回調査に比べると、「役立った」が高くなっています。

【経験年数】

- 1年～3年未満では、「役立った」「ある程度役立った」が50.0%となっています。
- 3～5年未満では、「あまり役立たなかった」が75.0%、「ある程度役立った」が25.0%となっています。
- 5年以上では、「ある程度役立った」が51.9%で最も高く、次いで「役立った」が37.0%、「あまり役立たなかった」が7.4%となっています。

【困難事例相談による問題解決の効果】



単位：%

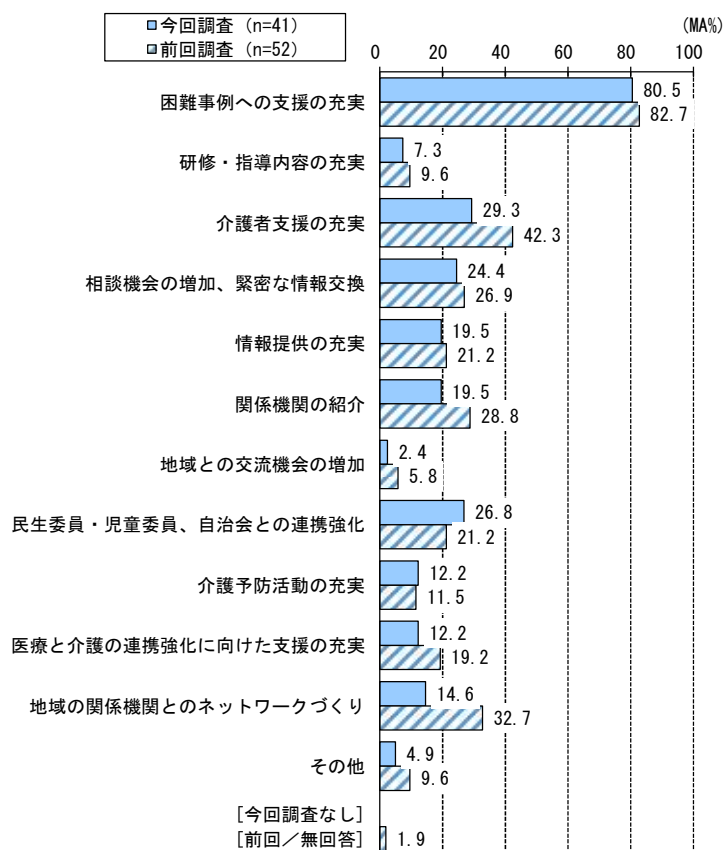
		母数	地域包括支援センターへの困難事例相談経験				
			役 立 つ た	役 あ る つ 程 度	役 あ ま り な か つ た	役 立 た な か つ た	そ の 他
経験年数	1年未満 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	1年～3年未満 (n=2)	2	△ 50.0	50.0	-	-	-
	3～5年未満 (n=4)	4	-	▼ 25.0	△ 75.0	-	-
	5年以上 (n=27)	27	37.0	51.9	7.4	3.7	-

- 問29 地域包括支援センターに機能強化してほしいと思うことは何ですか。
(いくつでも○)

【全体】

- 地域包括支援センターに機能強化してほしいことについて、「困難事例への支援の充実」が80.5%で最も高く、次いで「介護者支援の充実」が29.3%、「民生委員・児童委員、自治会との連携強化」が26.8%となっています。
- 前回調査に比べると、「民生委員・児童委員、自治会との連携強化」「介護予防活動の充実」が高くなった一方、その他の項目は低くなっています。

【地域包括支援センターに機能強化してほしいこと】



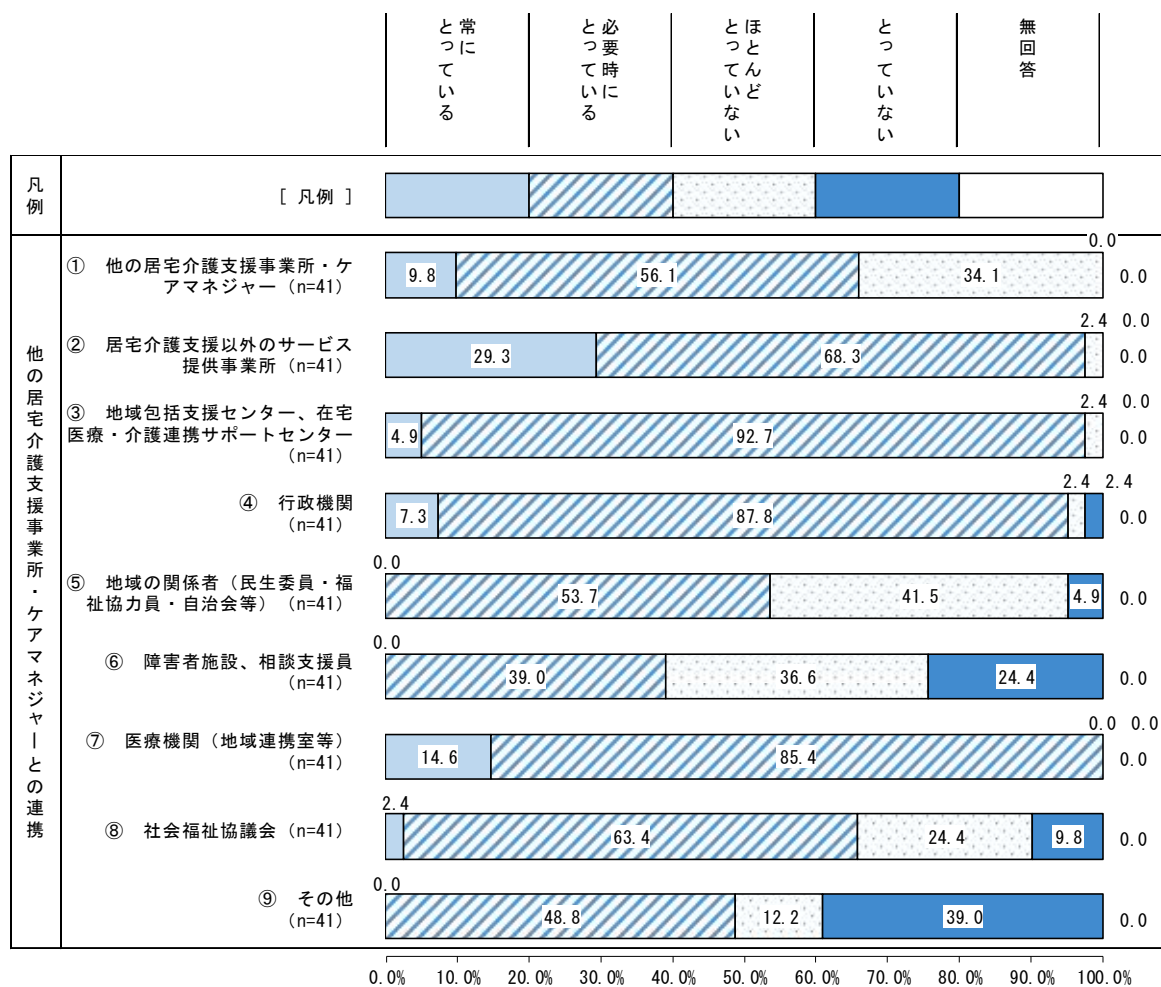
(7) その他関係機関について

●問30 以下の関係機関等と連携を取っていますか。(それぞれ○は1つ)

【全体】

- 関係機関等との連携状況について、「常にとっている」は〔居宅介護支援事業所以外のサービス提供事業所〕では 29.3%と最も高く、〔医療機関（地域連携室等）〕が 14.6%、その他の機関では1割未満となっています。
- 「ほとんどとっていない」「とっていない」を合わせた“とっていない”は〔その他〕を除くと、〔障害者施設、相談支援員〕が 61.0%、〔地域の関係者（民生委員・福祉協力員・自治会等）〕が 46.4%と高くなっています。

【関係機関等との連携状況】



5. 高齢者施策全般について

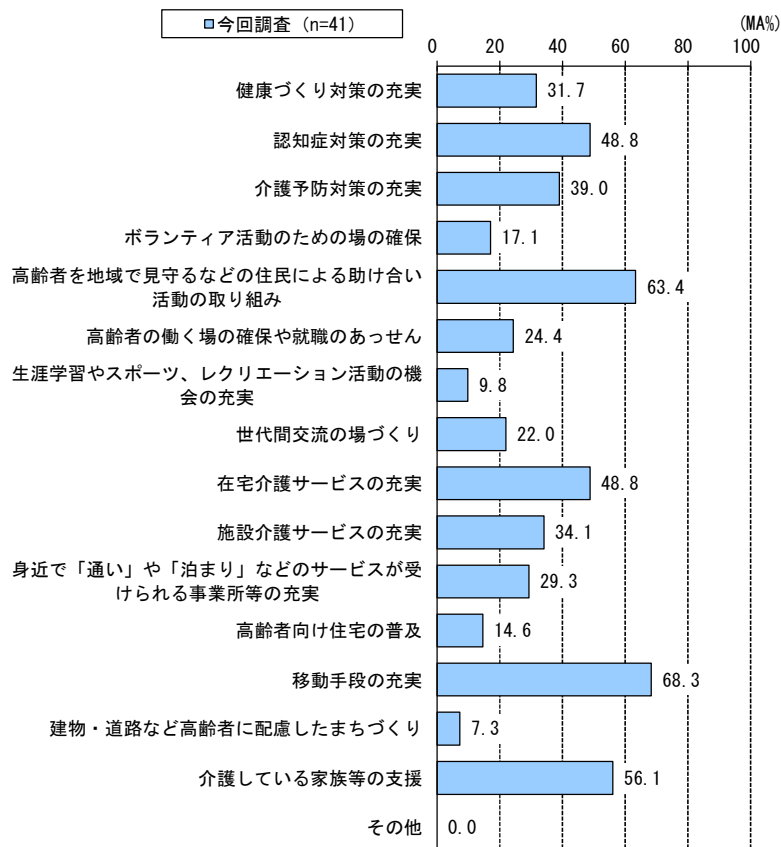
(1) 福祉サービスについて

- 問31 高齢者への福祉サービスで守山市が充実すべきサービスや支援活動は何ですか。(いくつでも○)

【全体】

- 市が充実すべき福祉サービス・支援活動について、「移動手段の充実」が 68.3%で最も高く、次いで「高齢者を地域で見守るなどの住民による助け合い活動の取り組み」が 63.4%、「介護している家族等の支援」が 56.1%となっています。

【市が充実すべき福祉サービス・支援活動】

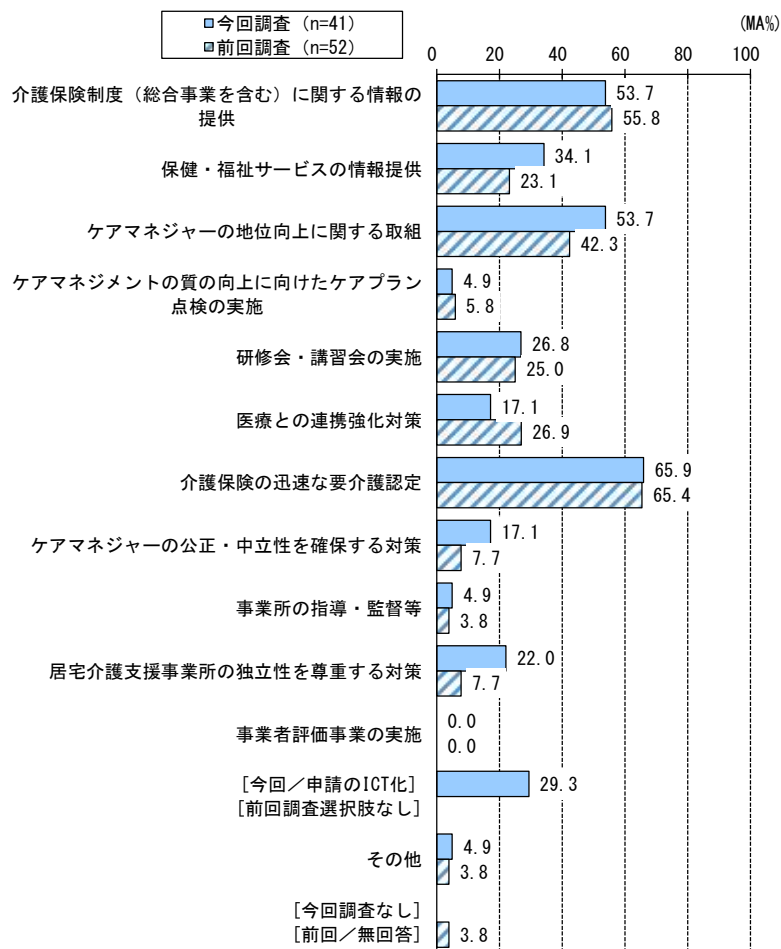


●問32 ケアマネジャーへの対応として、行政に期待することは何ですか。(いくつでも○)

【全体】

- 行政（市）に期待するケアマネジャー支援について、「介護保険の迅速な要介護認定」が65.9%で最も高く、次いで「介護保険制度（総合事業を含む）に関する情報の提供」「ケアマネジャーの地位向上に関する取組」が53.7%、「保健・福祉サービスの情報提供」が34.1%となっています。
- 前回調査に比べると、「居宅介護支援事業所の独立性を尊重する対策」が特に多くなっており、「ケアマネジャーの地位向上に関する取組」「保健・福祉サービスの情報提供」も高くなっています。

【行政（市）に期待するケアマネジャー支援】

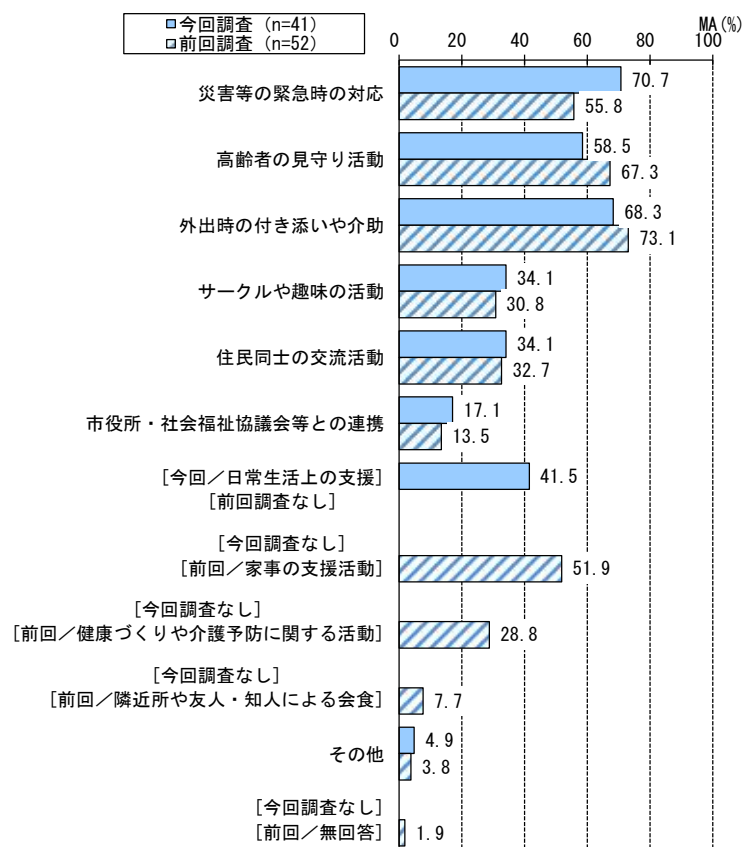


- 問33 インフォーマルサービスの充実に向けて、地域にどのような活動があれば良いと思いますか。(いくつでも○)

【全体】

- 地域に求めるインフォーマルサービス活動について、「災害等の緊急時の対応」が70.7%で最も高く、次いで「外出時の付き添いや介助」が68.3%、「高齢者の見守り活動」が58.5%となっています。
- 前回調査に比べると、「災害等の緊急時の対応」などの割合が高くなっています。

【地域に求めるインフォーマルサービス活動】

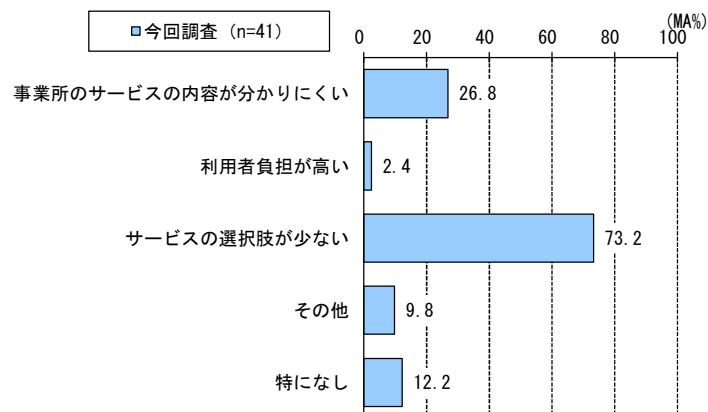


- 問34 介護予防・日常生活支援総合事業のサービスについて、課題に思うことは何ですか。(いくつでも○)

【全体】

- 総合事業サービスの課題について、「サービスの選択肢が少ない」が73.2%で最も高く、次いで「事業所のサービスの内容が分かりにくい」が26.8%、「特になし」が12.2%となっています。

【総合事業サービスの課題】

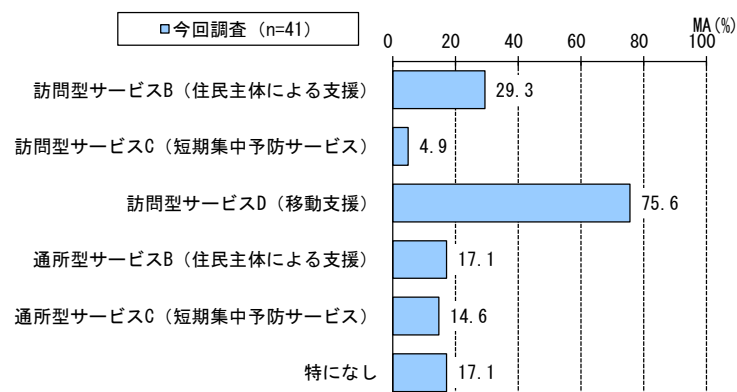


- 問35 介護予防・日常生活支援総合事業のサービスについて、今後どのような分野が必要と考えますか。(いくつでも○)

【全体】

- 総合事業で今後必要とされる分野について、「訪問型サービス D (移動支援)」が75.6%で最も高く、次いで「訪問型サービス B (住民主体による支援)」が29.3%、「通所型サービス B (住民主体による支援)」が17.1%、「特になし」が17.1%となっています。

【総合事業で今後必要とされる分野】

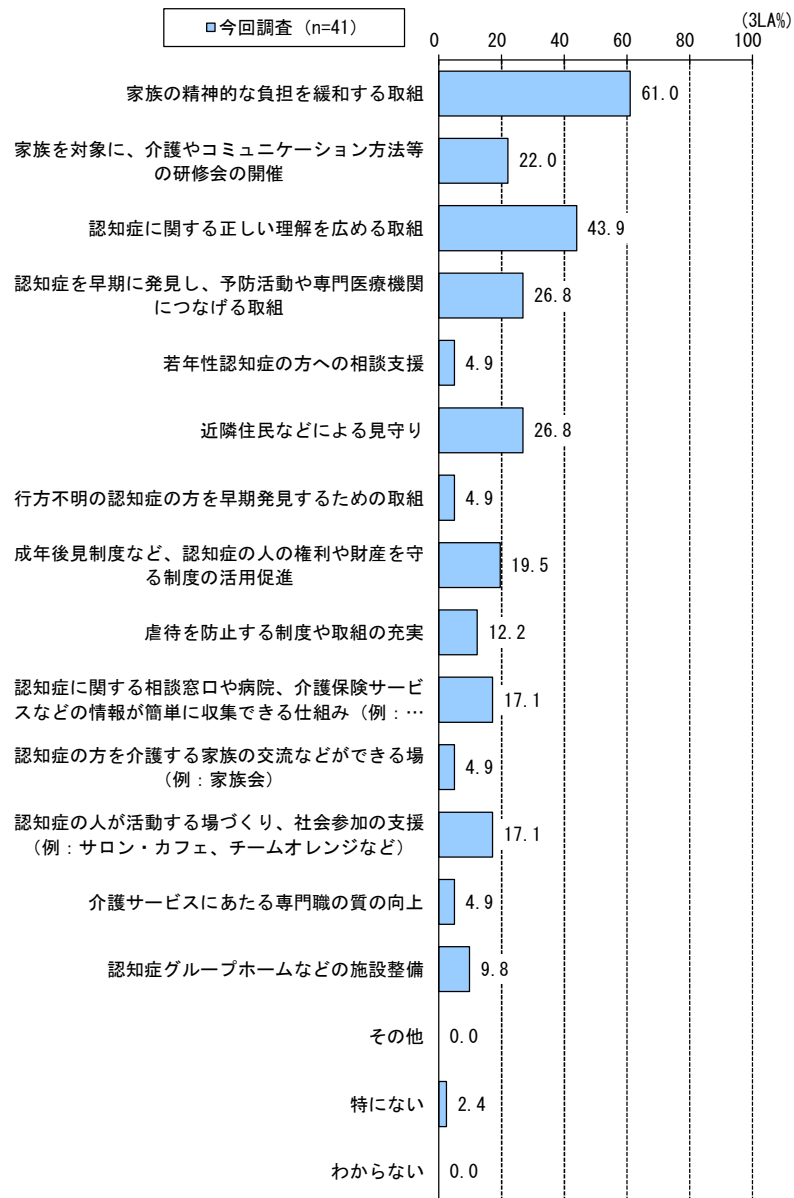


- 問36 今後、認知症施策を進めていく上で、守山市は特にどのようなことに重点を置くべきだと考えますか。（上位3つまで○をつけてください）

【全体】

- 守山市が重点を置くべき認知症施策について、「家族の精神的な負担を緩和する取組」が61.0%で最も高く、次いで「認知症に関する正しい理解を広める取組」が43.9%、「認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取組」「近隣住民などによる見守り」が26.8%となっています。

【守山市が重点を置くべき認知症施策】

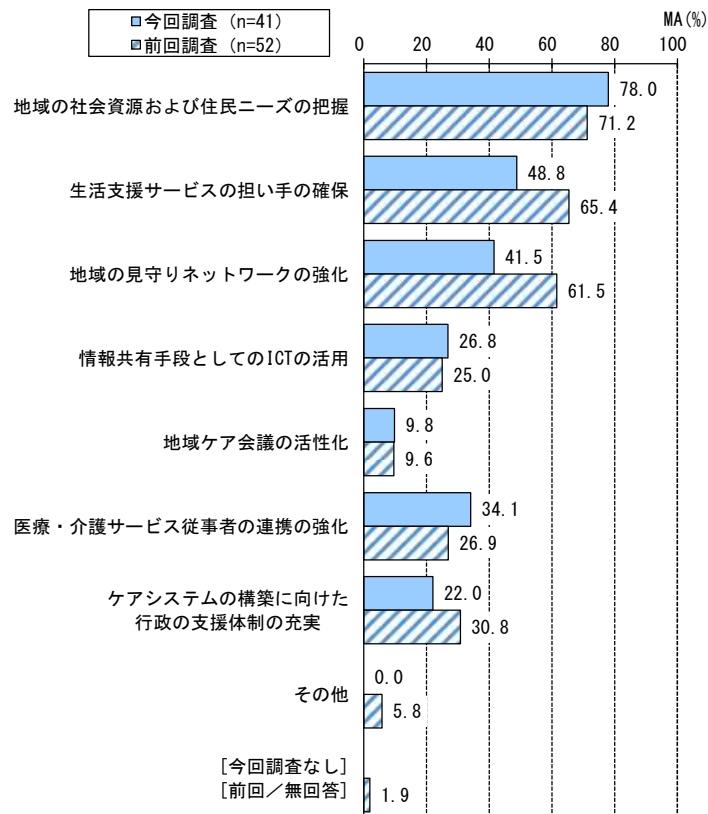


- 問37 地域包括ケアシステムを構築するために必要だと思われるものは何ですか。(いくつでも○)

【全体】

- 地域包括ケアシステム構築に必要な要素について、「地域の社会資源および住民ニーズの把握」が 78.0%で最も高く、次いで「生活支援サービスの担い手の確保」が 48.8%、「地域の見守りネットワークの強化」が 41.5%となっています。
- 前回調査に比べると、「医療・介護サービス従事者の連携の強化」「地域の社会資源および住民ニーズの把握」などが高くなっています。

【地域包括ケアシステム構築に必要な要素】



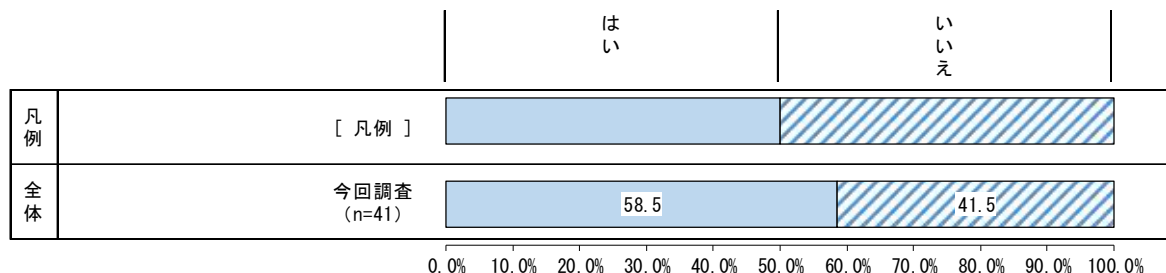
(2) 人生会議やエンディングノートについて

- 問38 人生の最終段階の利用者に対して、人生会議（ACP）について取り組んでいますか。
（○は1つ）

【全体】

○ 人生会議（ACP）への取り組み状況について、「はい」が 58.5%、「いいえ」が 41.5%となっています。

【人生会議（ACP）への取り組み状況】

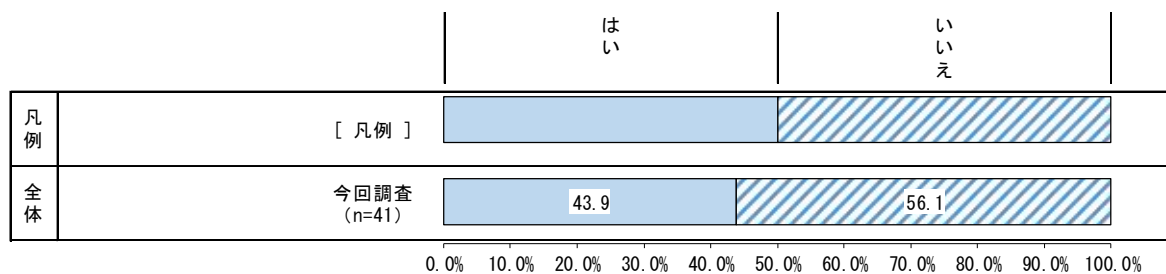


- 問39 ケアプランの作成や本人の意思決定支援におけるツールとして、エンディングノートを活用していますか。（○は1つ）

【全体】

○ エンディングノートの活用状況について、「はい」が 43.9%、「いいえ」が 56.1%となっています。

【エンディングノートの活用状況】



6. ケアマネジャーの業務負担感について

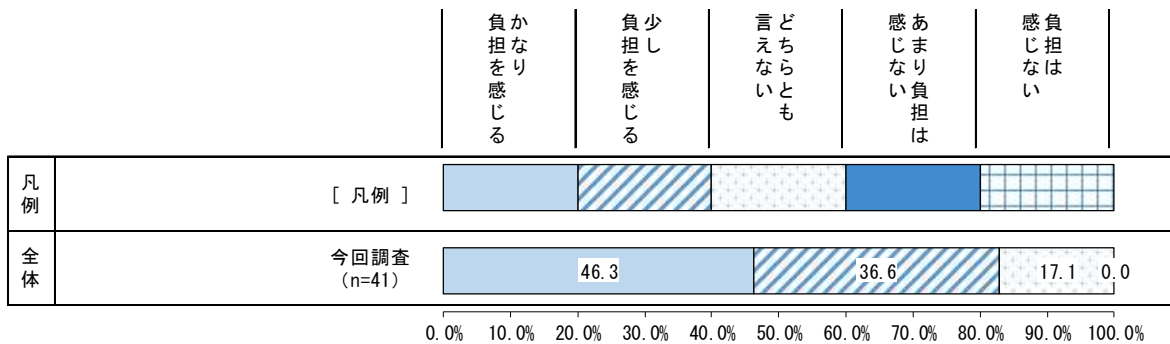
(1) 業務の負担感について

●問42 現在の業務全体の負担感をどのように感じていますか。(○は1つ)

【全体】

○ 業務全体の負担感について、「かなり負担を感じる」が46.3%で最も高く、次いで「少し負担を感じる」が36.6%となっており、8割超の方が負担感を感じています。

【業務全体の負担感】

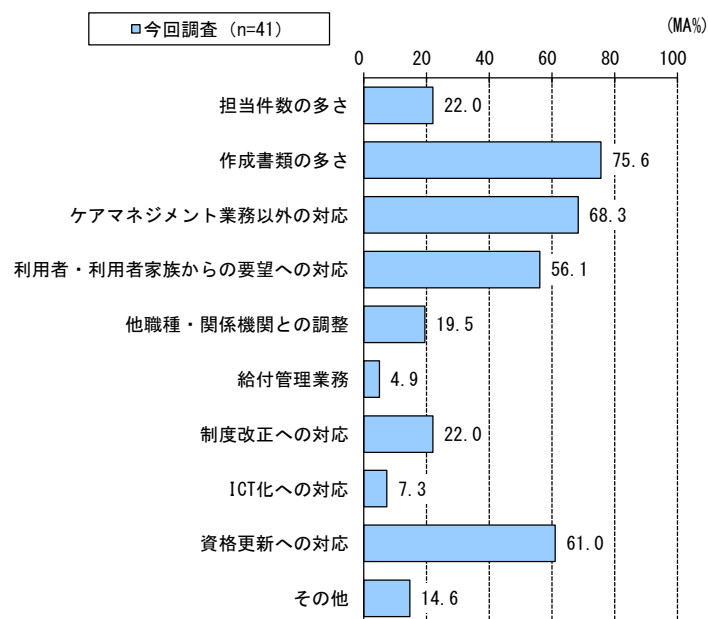


●問43 業務負担の主な要因は何だと感じますか。(いくつでも○)

【全体】

○ 業務負担の主な要因について、「作成書類の多さ」が75.6%で最も高く、次いで「ケアマネジメント業務以外の対応」が68.3%、「資格更新への対応」が61.0%となっています。

【業務負担の主な要因】



7. 介護予防支援について

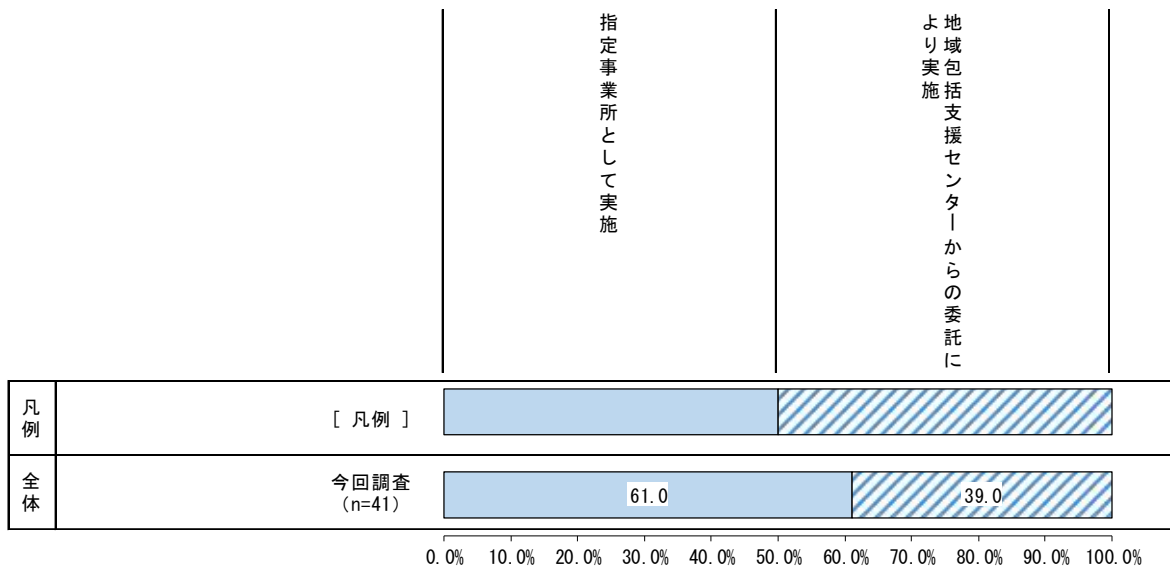
(1) 介護予防支援について

●問44 介護予防支援の実施状況についておたずねします。(○は1つ)

【全体】

○ 介護予防支援の実施形態について、「指定事業所として実施」が 61.0%、「地域包括支援センターからの委託により実施」が 39.0%となっています。

【介護予防支援の実施形態】

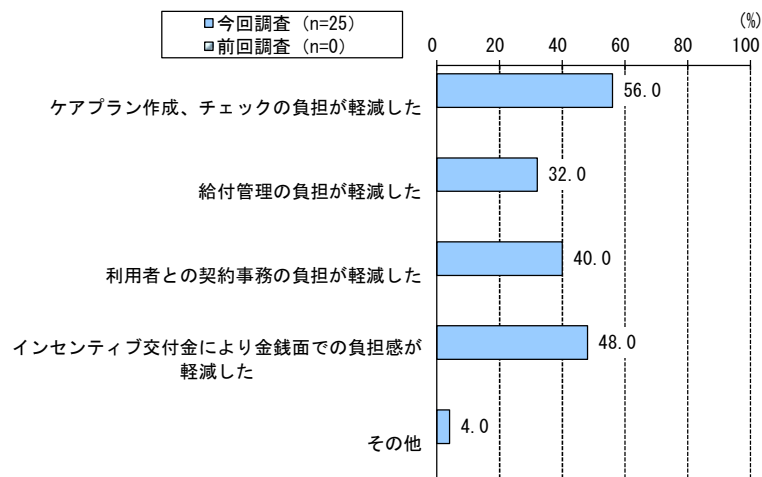


●問44-1 【問44で「1. 指定事業所として実施」と回答した方】指定を受けてやりやすくなった点（良かった点）は何ですか。（いくつでも○）

【全体】

○ 指定事業所として実施して良かった点について、「ケアプラン作成、チェックの負担が軽減した」が 56.0%で最も高く、次いで「インセンティブ交付金により金銭面での負担感が軽減した」が 48.0%、「利用者との契約事務の負担が軽減した」が 40.0%となっています。

【指定事業所として実施して良かった点】

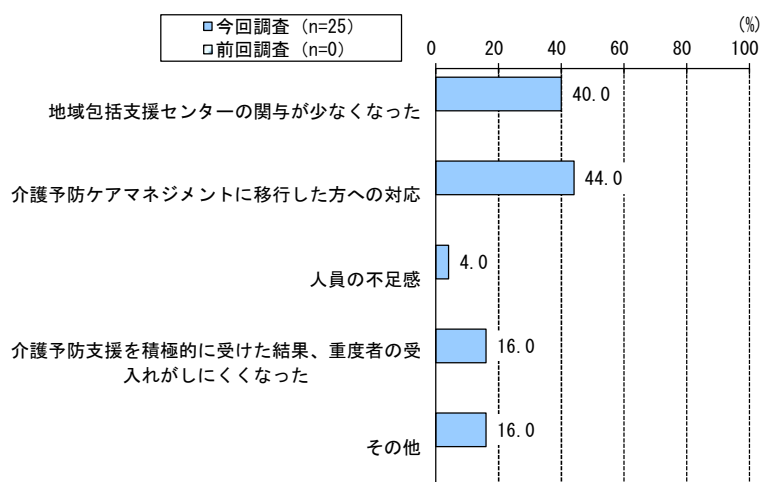


- 問44-2 【問44で「1. 指定事業所として実施」と回答した方】指定を受けてやりにくくなった点（悪かった点）は何ですか。（いくつでも○）

【全体】

- 指定事業所として実施して苦労した点について、「介護予防ケアマネジメントに移行した方への対応」が 44.0%で最も高く、次いで「地域包括支援センターの関与が少なくなった」が 40.0%、「介護予防支援を積極的に受けた結果、重度者の受入れがしにくくなった」「その他」が 16.0%となっています。

【指定事業所として実施して苦労した点】

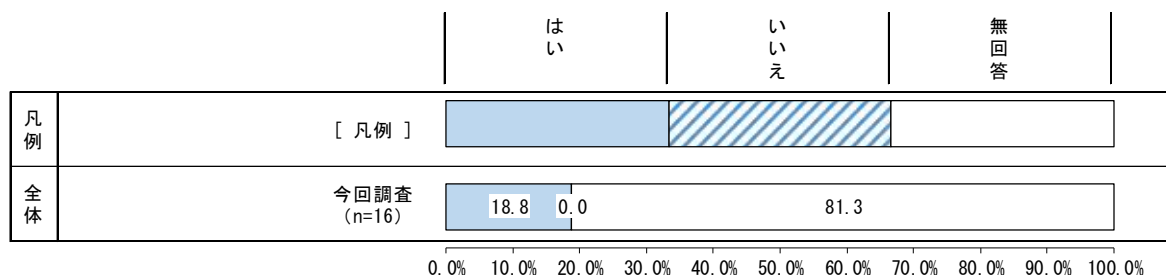


- 問44-3 【問44で「2. 地域包括からの委託により実施」と回答した方】今後、指定事業所として実施することを考えていますか。（○はひとつ）

【全体】

- 現在委託の方の指定事業所への移行に関する意向について、「はい」が 18.8%となっています。

【現在委託の方の指定事業所への移行に関する意向】



- 問44-4 【問44-3で「2. いいえ」と答えた方】実施を考えていない理由は何ですか。(いくつかでも○)

【全体】

- 移行意向のない理由について、「人員の確保が難しい」が46.2%で最も高く、次いで「報酬が低い、採算性が合わない」が38.5%、「事務負担が大きい」「指定手続きが負担」が30.8%となっています。

【移行意向のない理由】

